別　紙

女川原子力発電所の状況（平成２４年１２月分）

女川原子力発電所１～３号機は、東北地方太平洋沖地震により原子炉が設計どおり自動停止しました。

現在、設備の点検等を実施しております。

女川原子力発電所の状況については、以下のとおりです。

１．定期検査の実施状況

（１）女川原子力発電所１号機

女川原子力発電所１号機は、平成２３年９月１０日より第２０回定期検査を実施しております。

平成２４年１２月３１日現在、主な作業としてプラント停止中の安全維持点検を行っております。

（添付－１　女川原子力発電所１号機　第２０回定期検査　主要点検工程表　参照）

ａ．主要機器の点検状況

主な機器の点検状況は以下のとおりです。

（ａ）プラント停止中の安全維持点検

原子炉停止中においてもプラントの安全性を維持するために必要な系統について、点検を実施しております。

（ｂ）高圧電源盤および原子炉再循環ポンプトリップ用高圧電源盤更新工事

東北地方太平洋沖地震により焼損した高圧電源盤と同様のしゃ断器を使用している原子炉再循環ポンプトリップ用高圧電源盤について、吊り下げ設置型しゃ断器から耐震性の高い横置き設置型しゃ断器への更新工事を実施しております。

（２）女川原子力発電所２号機

女川原子力発電所２号機は、平成２２年１１月６日より第１１回定期検査を実施しております。

平成２４年１２月３１日現在、主な作業として蒸気タービンの点検等を行っております。

（添付－２　女川原子力発電所２号機　第１１回定期検査　主要点検工程表　参照）

（３）女川原子力発電所３号機

女川原子力発電所３号機は、平成２３年９月１０日より第７回定期検査を実施しております。

平成２４年１２月３１日現在、主な作業として蒸気タービンの点検および配管減肉に係る検査等を行っております。

（添付－３　女川原子力発電所３号機　第７回定期検査　主要点検工程表　参照）

ａ．主要機器の点検状況

主な機器の点検状況は以下のとおりです。

（ａ）配管減肉に係る検査

原子炉系およびタービン系の配管約９３０カ所について、肉厚測定検査を実施しております。

（４）定期検査に係るトラブルに該当しないひび、傷等の状況について

ａ．平成２４年１２月の主要機器の点検状況は、以下のとおりです。

（ａ）１号機

トラブルに該当しない「ひび」、「傷」等の軽度な事象として２件が確認されております。（詳細については、添付－４参照）

（ｂ）２号機

トラブルに該当しない「ひび」、「傷」等の軽度な事象はありませんでした。

（ｃ）３号機

トラブルに該当しない「ひび」、「傷」等の軽度な事象はありませんでした。

２．地震および津波による発電所主要設備への軽微な被害の対応状況

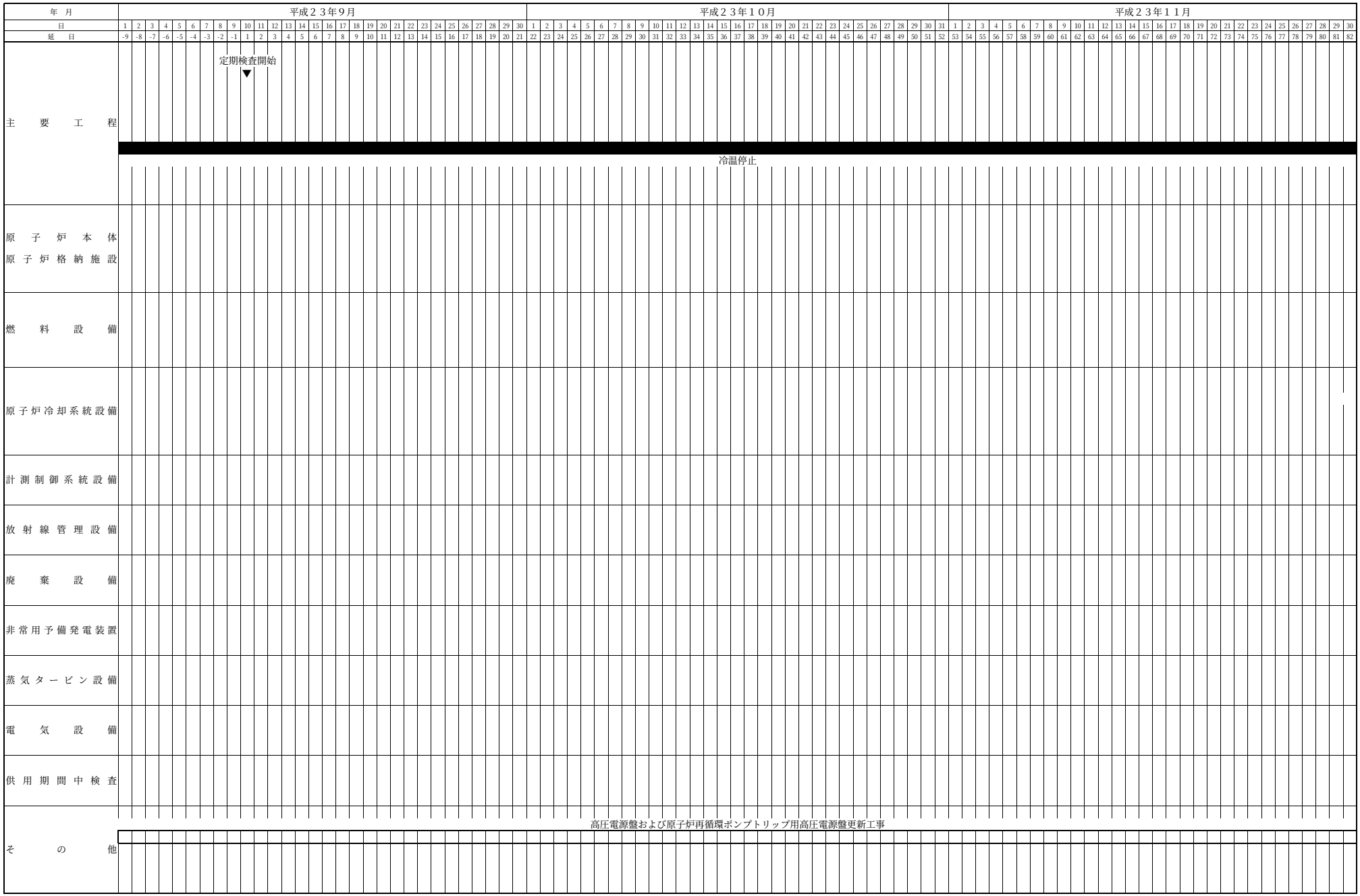
主要設備への軽微な被害として、これまでにお知らせしていた６１件から新たな追加はありません。また、今回、新たに２件（「２号機蒸気タービン中間軸受箱の基礎の損傷」、「２号機蒸気タービン中間軸受箱の基礎ボルト曲がり」）が復旧し、計６１件のうち５７件の対応が完了しております。

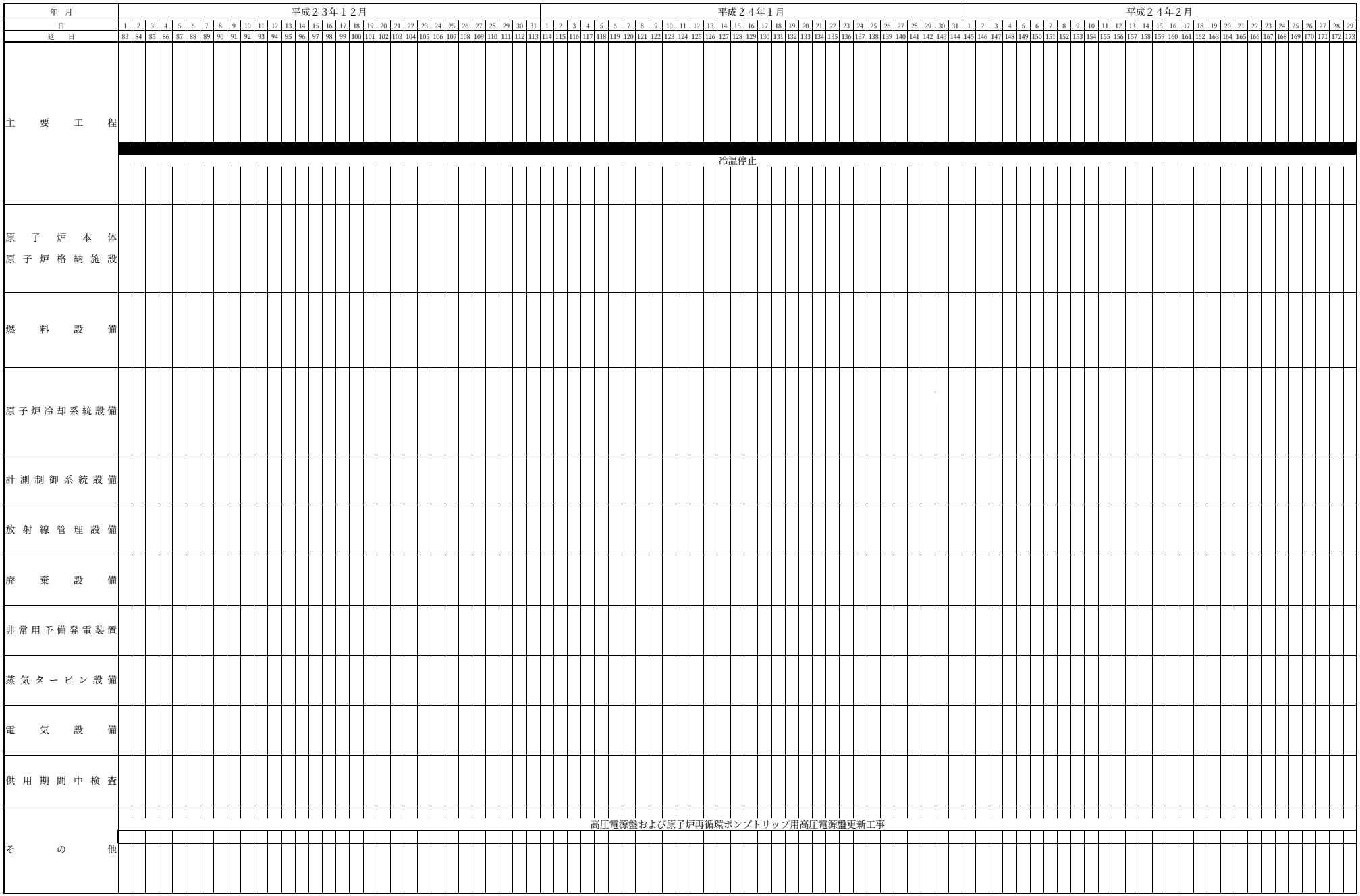
（添付－５　東北地方太平洋沖地震後の主要設備への軽微な被害状況リスト　参照）

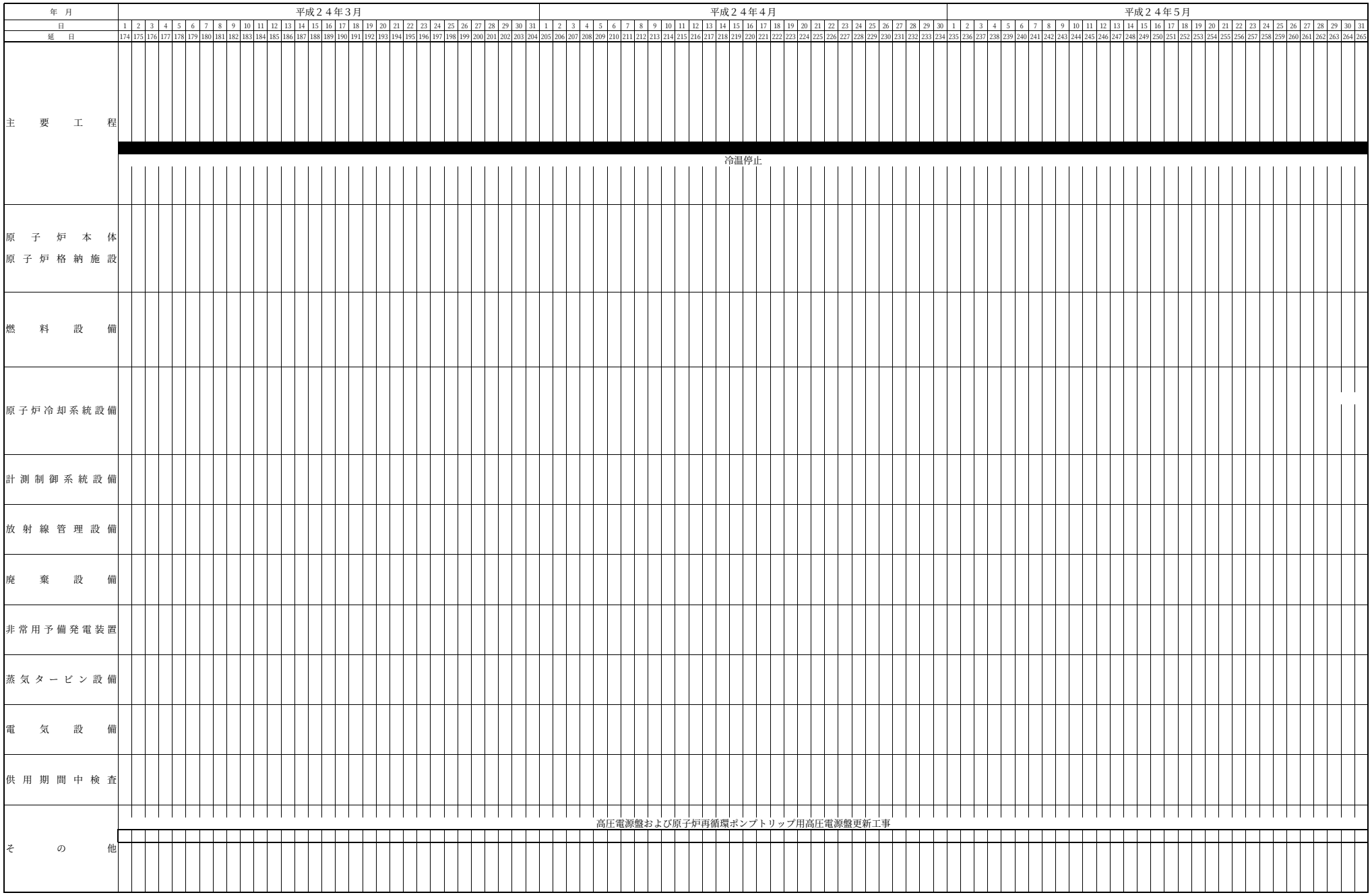
（添付－６　東北地方太平洋沖地震後の主要設備への軽微な被害の対応状況　参照）

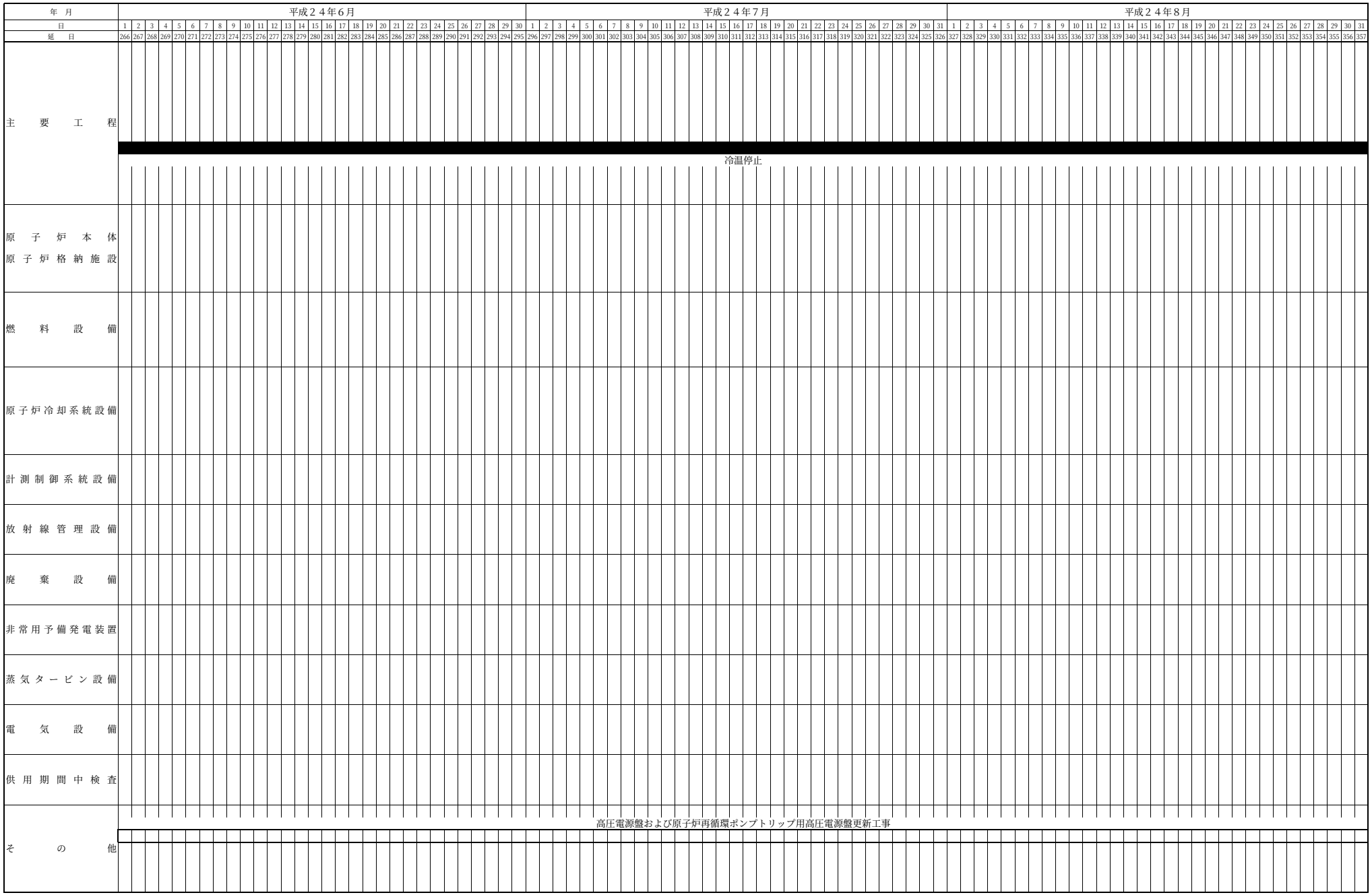
以　上

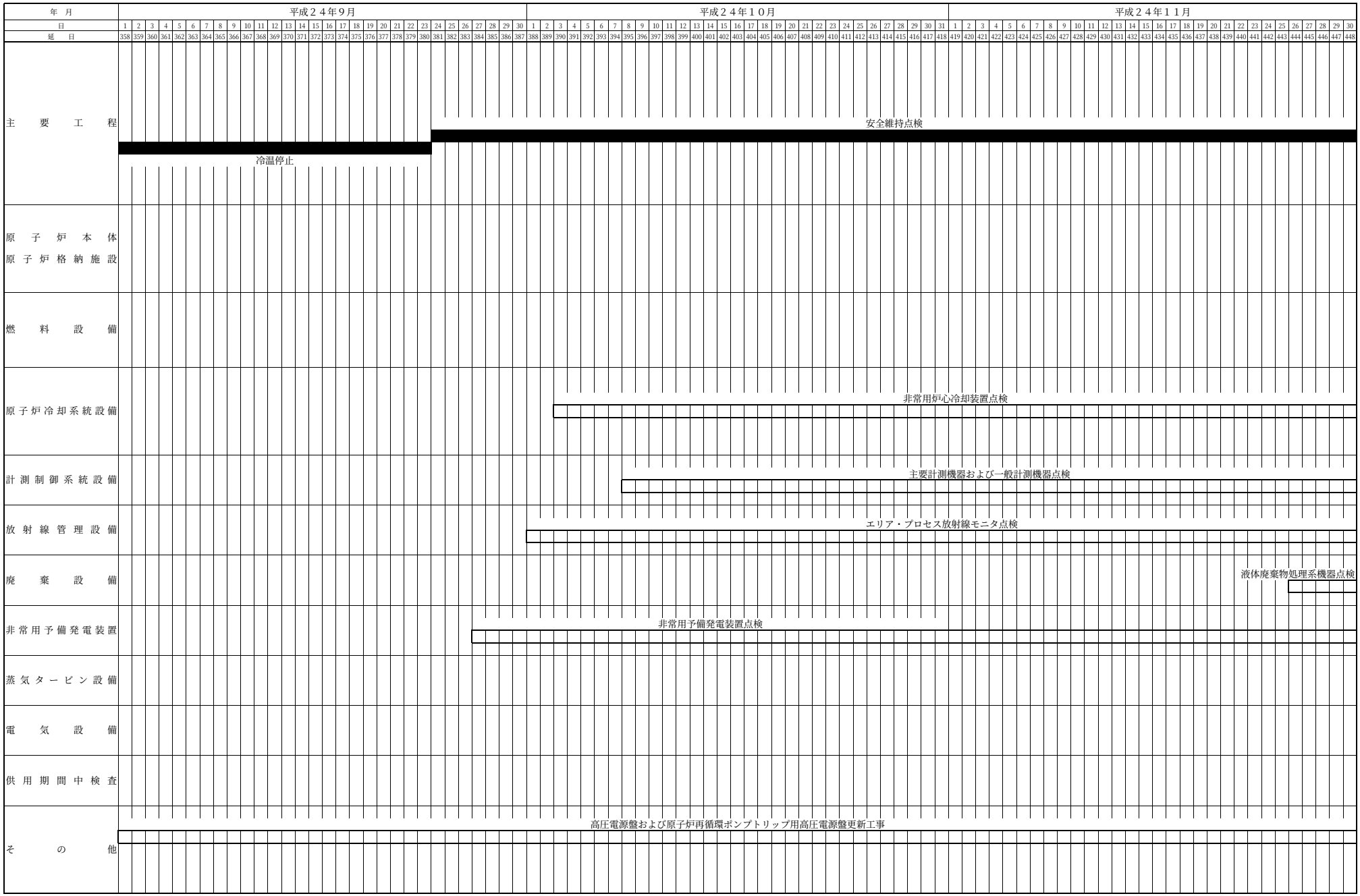
女川原子力発電所１号機　第２０回定期検査　主要点検工程表

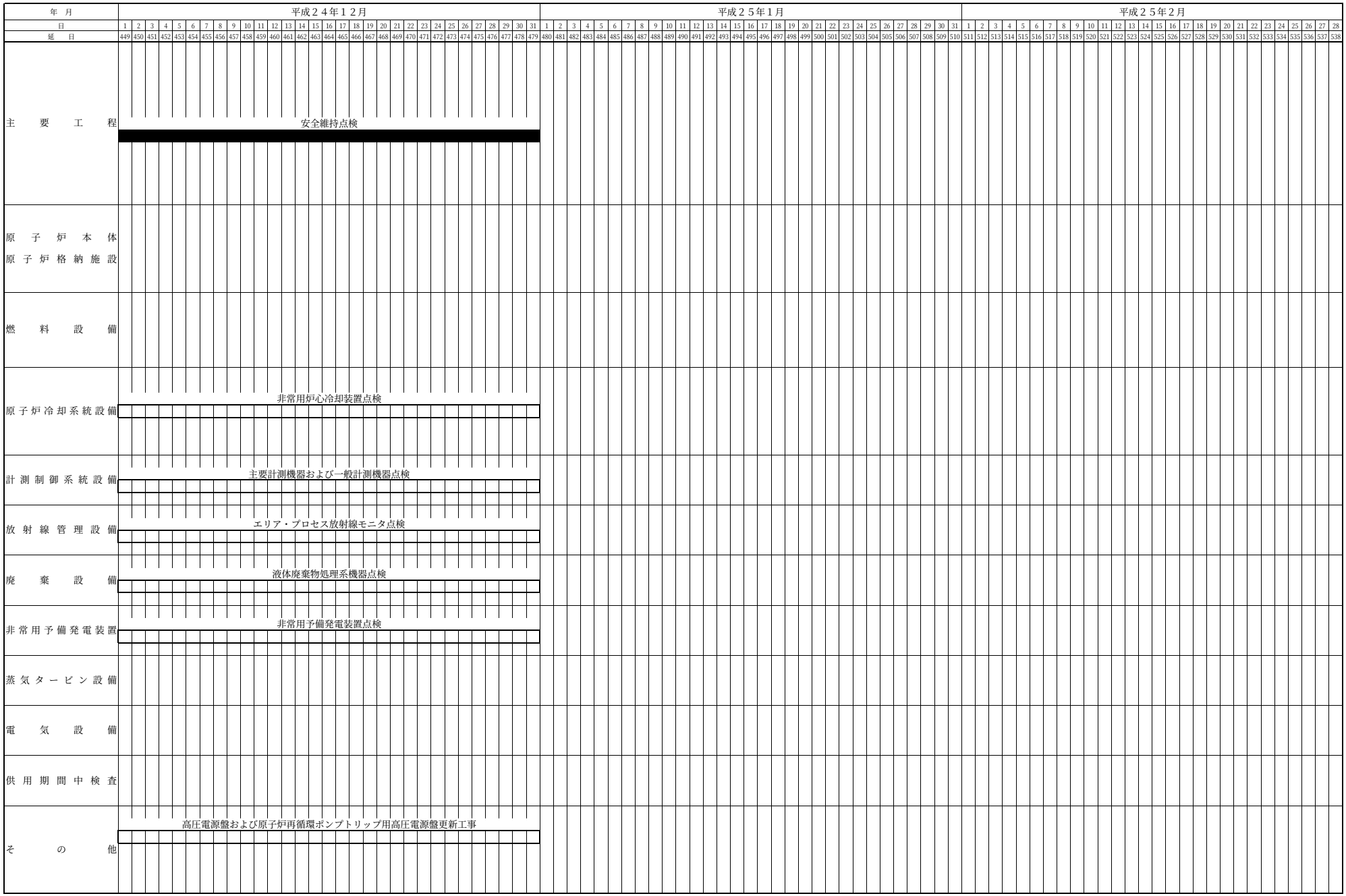



年 月
平成２３年１２月
平成２４年１月
平成２４年２月
日
延 日
主 要 工 程
冷温停止
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
燃 料 設 備
原子炉冷却系統設備
計 測 制 御 系 統 設 備
放 射 線 管 理 設 備
廃 棄 設 備
非常用予備発電装置
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
電 気 設 備
供 用 期 間 中 検 査
高圧電源盤および原子炉再循環ポンプトリップ用高圧電源盤更新工事
そ の 他

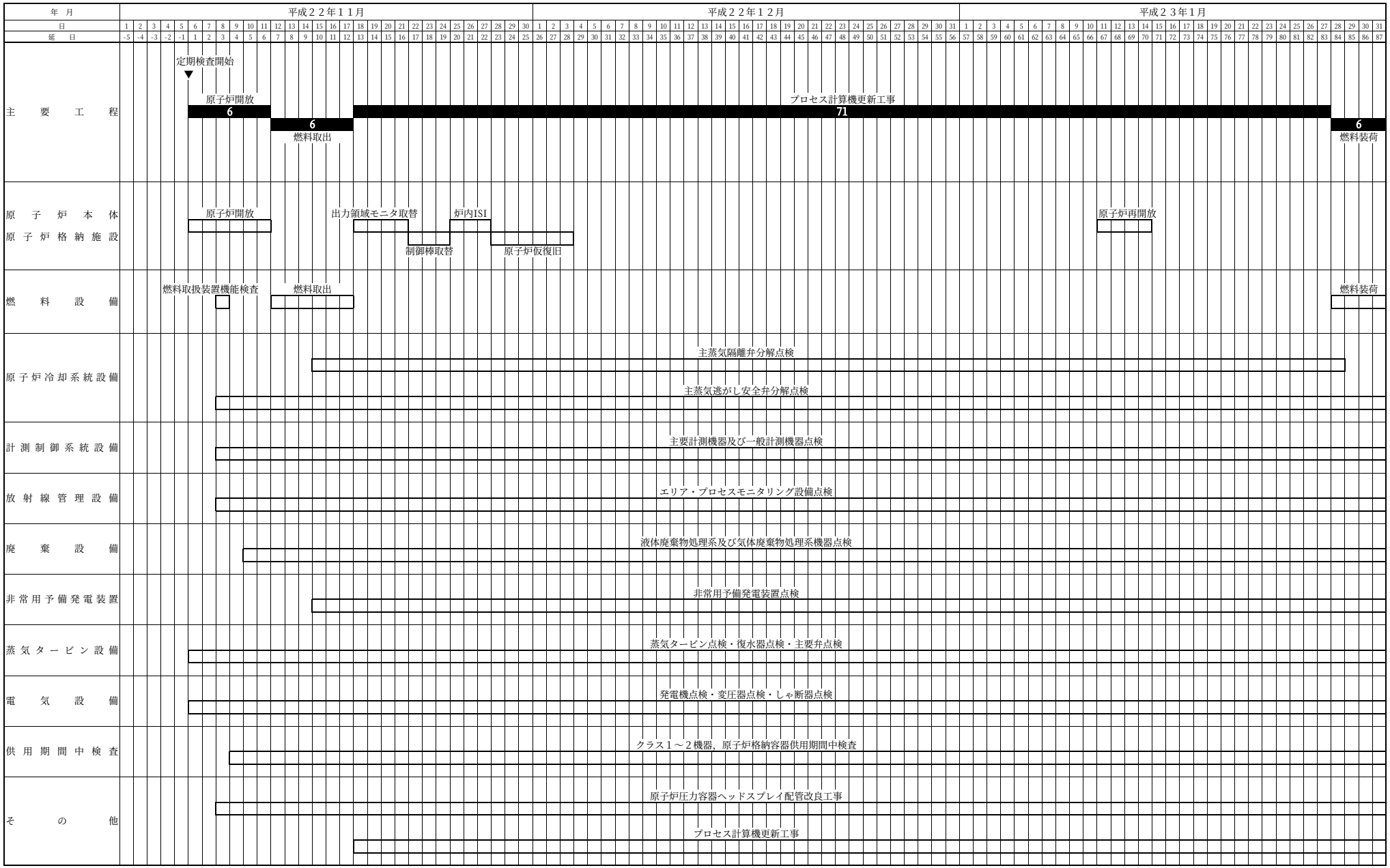

年 月
平成２４年３月
平成２４年４月
平成２４年５月
日
延 日
主 要 工 程
冷温停止
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
燃 料 設 備
原 子 炉 冷 却 系 統 設 備
計 測 制 御 系 統 設 備
放 射 線 管 理 設 備
廃 棄 設 備
非 常 用 予 備 発 電 装 置
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
電 気 設 備
供 用 期 間 中 検 査
高圧電源盤および原子炉再循環ポンプトリップ用高圧電源盤更新工事
そ の 他

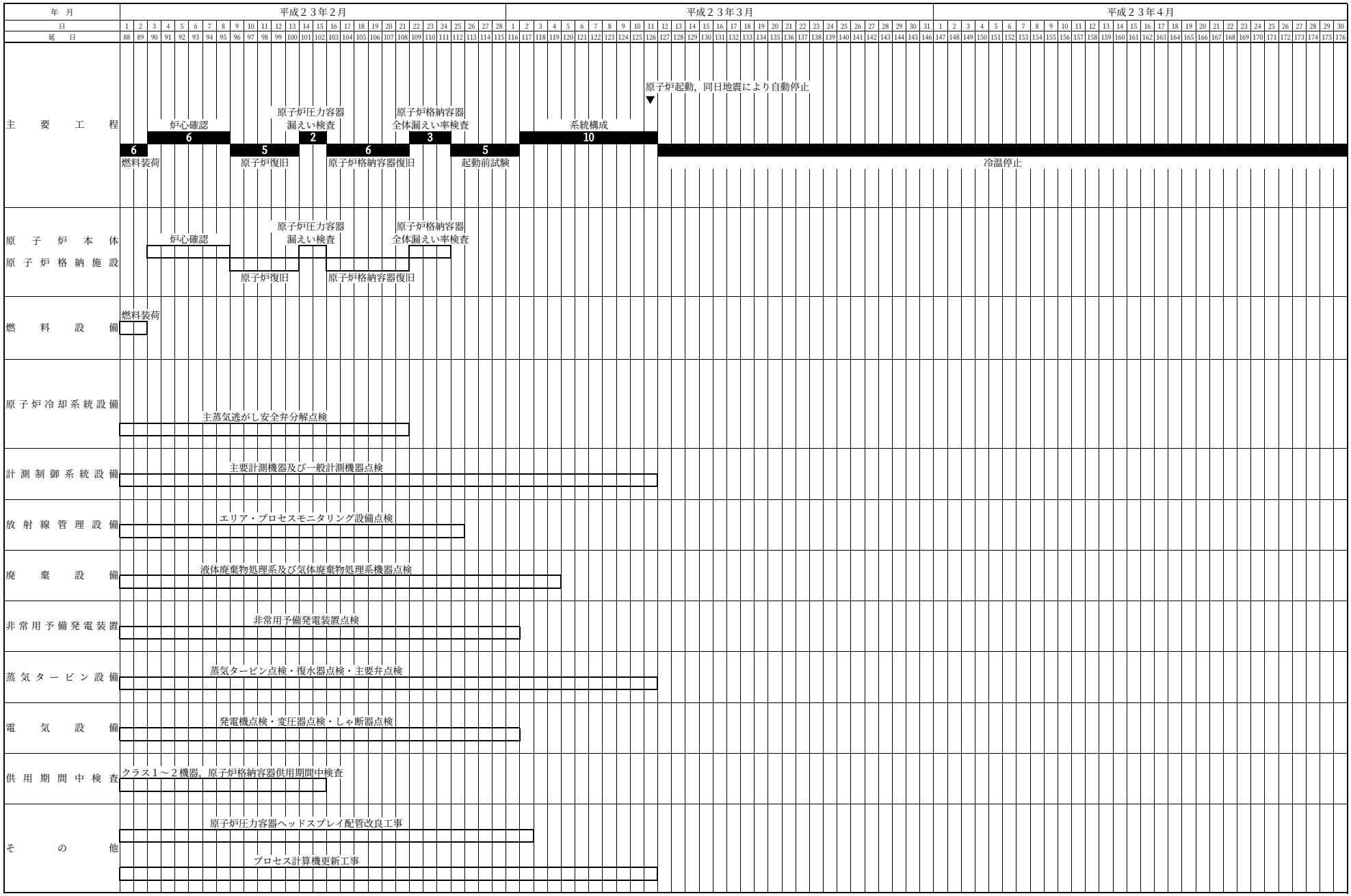

年 月
平成２４年６月
平成２４年７月
平成２４年８月
日
延 日
主 要 工 程
冷温停止
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
燃 料 設 備
原子炉冷却系統設備
計 測 制 御 系 統 設 備
放 射 線 管 理 設 備
廃 棄 設 備
非常用予備発電装置
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
電 気 設 備
供 用 期 間 中 検 査
高圧電源盤および原子炉再循環ポンプトリップ用高圧電源盤更新工事
そ の 他


年 月
平成２４年９月
平成２４年１０月
平成２４年１１月
日
延 日
主 要 工 程
安全維持点検
冷温停止
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
燃 料 設 備
原子炉冷却系統設備
非常用炉心冷却装置点検
計測制御系統設備
主要計測機器および一般計測機器点検
放射線管理設備
エリア・プロセス放射線モニタ点検
廃 棄 設 備
液体廃棄物処理系機器点検
非常用予備発電装置
非常用予備発電装置点検
蒸気タービン設備
電 気 設 備
供用期間中検査
その他
高圧電源盤および原子炉再循環ポンプトリップ用高圧電源盤更新工事

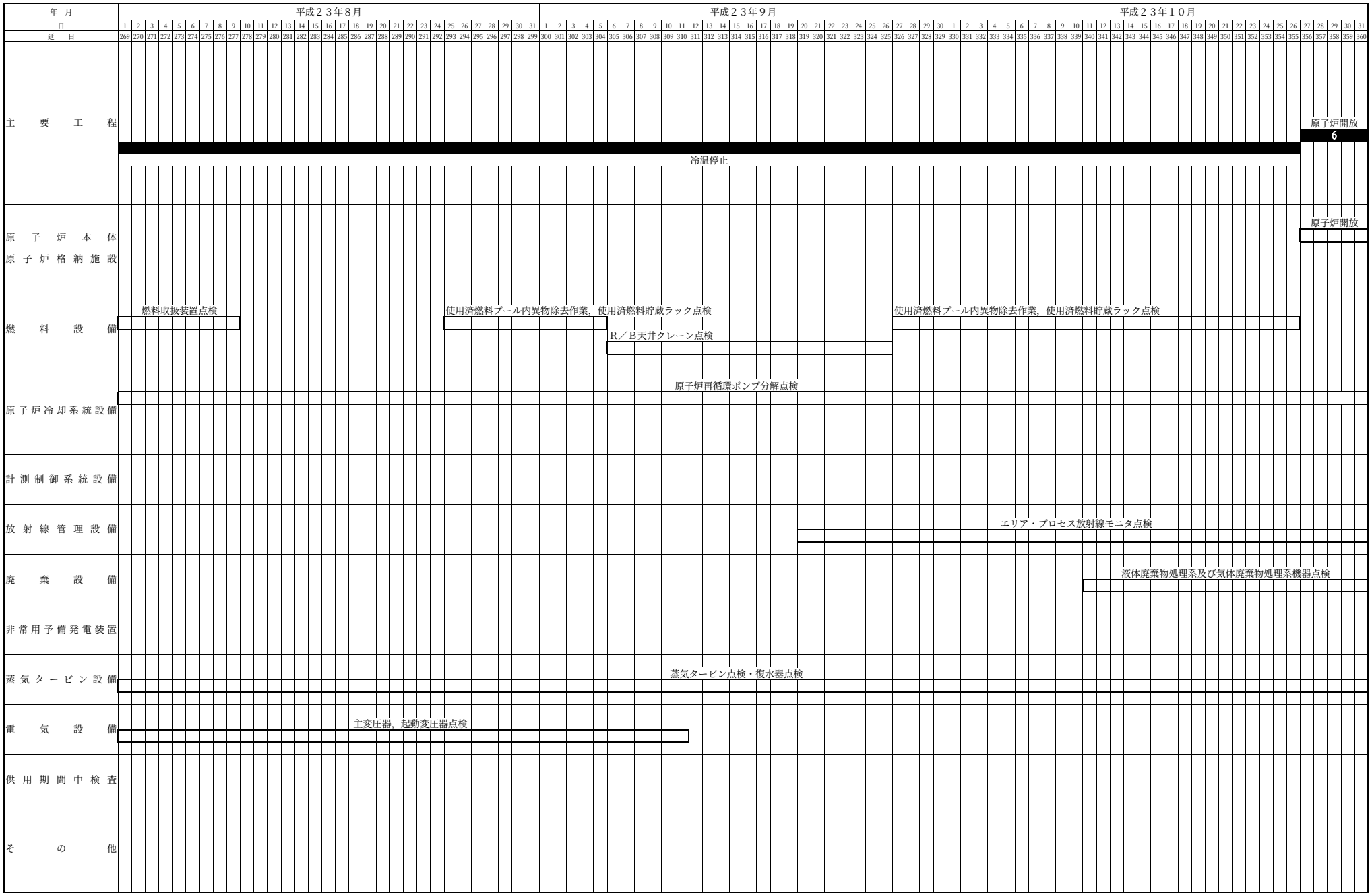

年 月
平成２４年１２月
平成２５年１月
平成２５年２月
日
延 日
主 要 工 程
安全維持点検
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
燃 料 設 備
原 子 炉 冷 却 系 統 設 備
非常用炉心冷却装置点検
計 測 制 御 系 統 設 備
主要計測機器および一般計測機器点検
放 射 線 管 理 設 備
エリア・プロセス放射線モニタ点検
廃 棄 設 備
液体廃棄物処理系機器点検
非 常 用 予 備 発 電 装 置
非常用予備発電装置点検
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
電 気 設 備
供 用 期 間 中 検 査
そ の 他
高圧電源盤および原子炉再循環ポンプトリップ用高圧電源盤更新工事

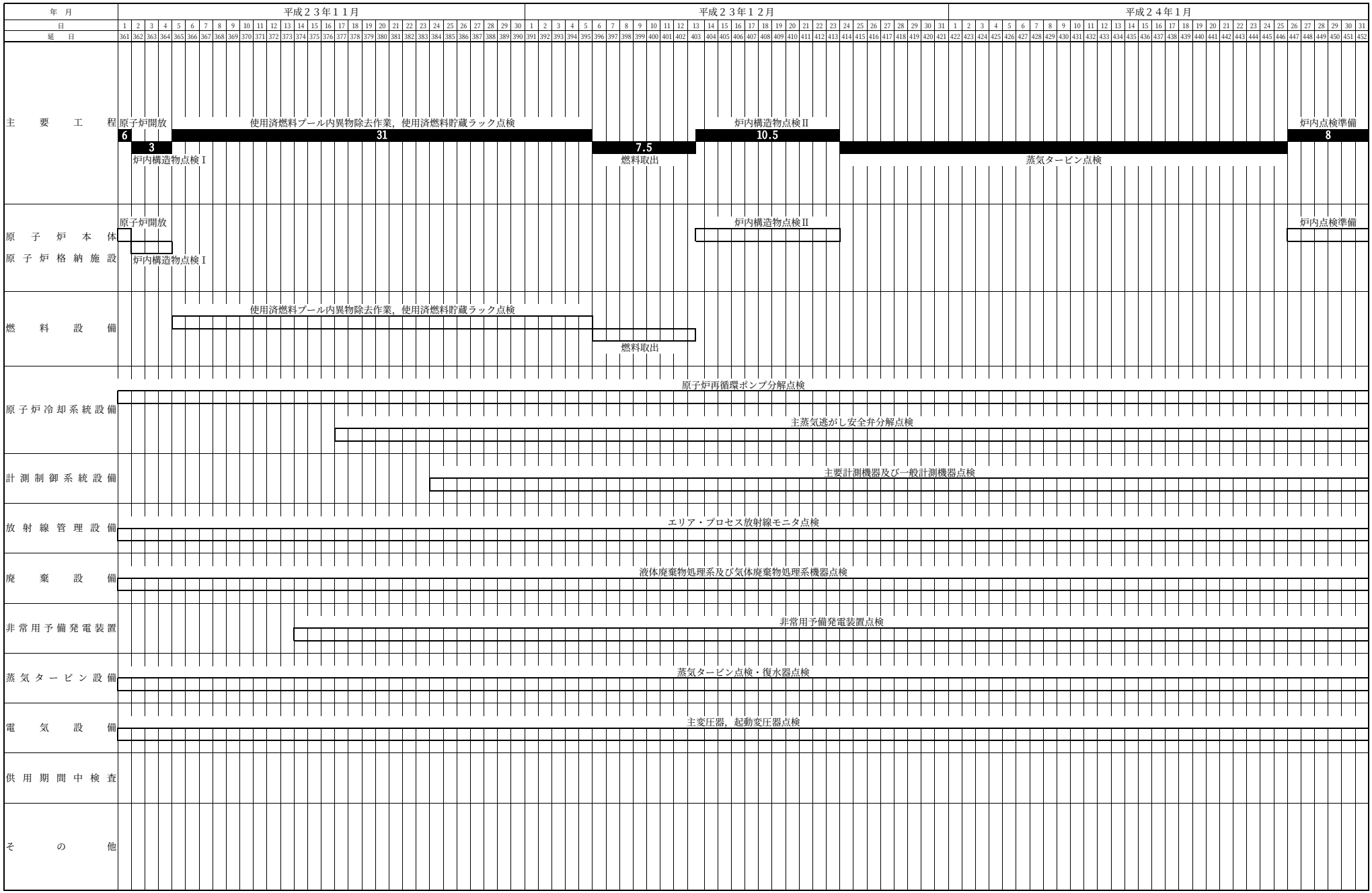
女川原子力発電所２号機　第１１回定期検査　主要点検工程表

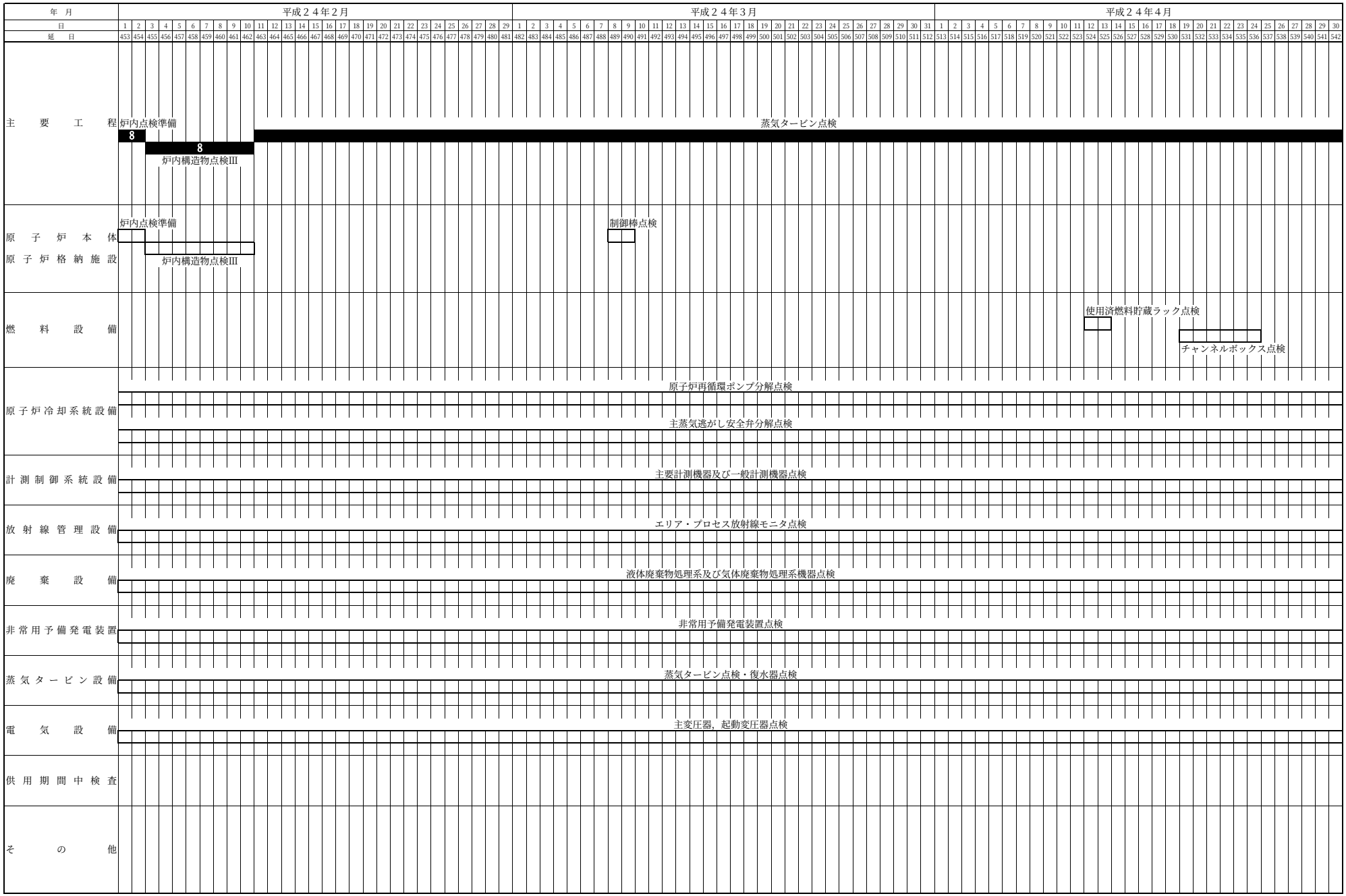


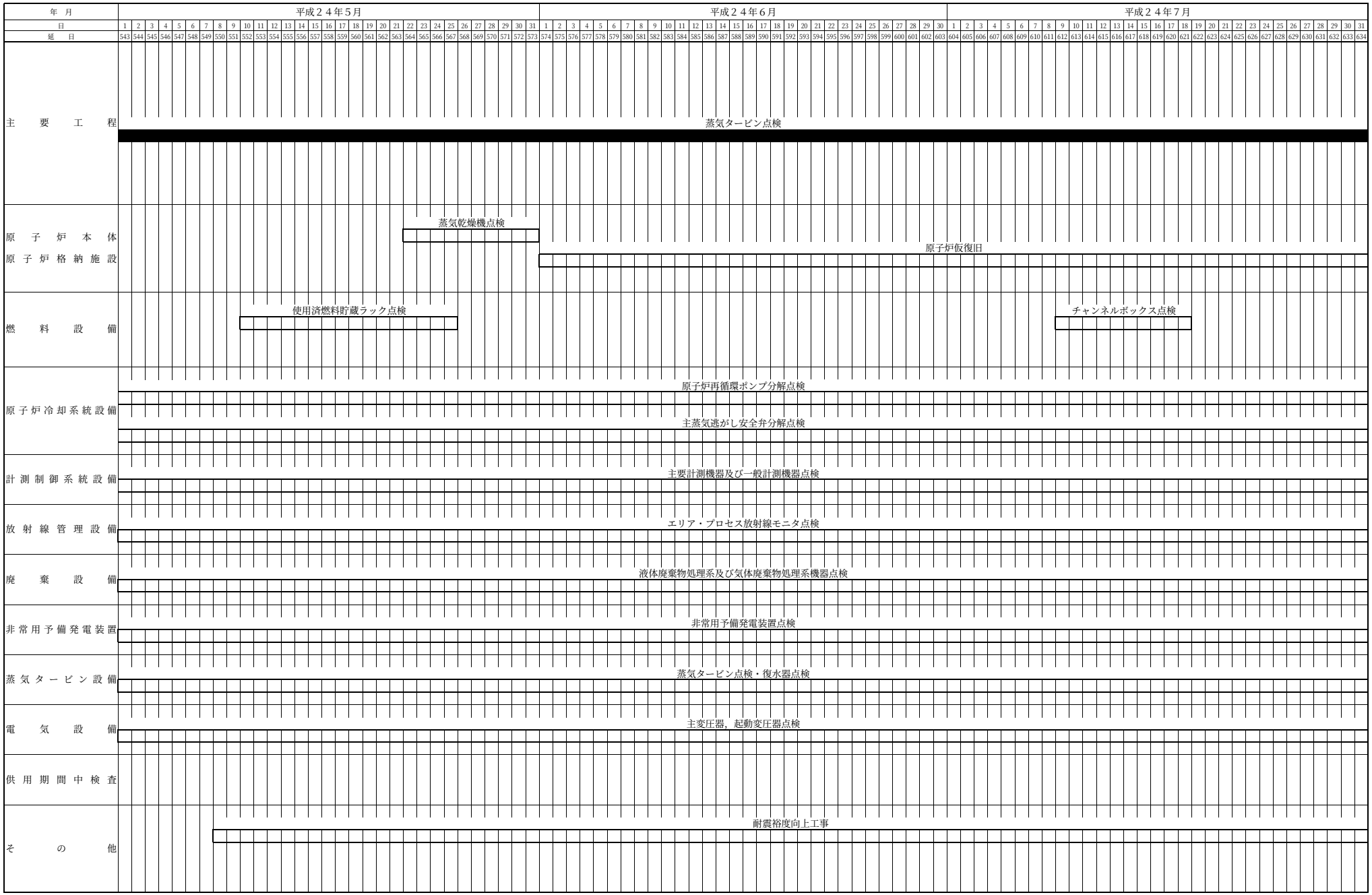

年 月
平成２３年２月
平成２３年３月
平成２３年４月
日
延 日
主 要 工 程
原子炉起動，同日地震により自動停止
炉心確認
6
原子炉圧力容器
漏えい検査
2
原子炉格納容器
全体漏えい率検査
3
系統構成
10
6
燃料装荷
5
原子炉復旧
6
原子炉格納容器復旧
5
起動前試験
冷温停止
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
燃 料 設 備
燃料装荷
原 子 炉 冷 却 系 統 設 備
主蒸気逃がし安全弁分解点検
計 測 制 御 系 統 設 備
主要計測機器及び一般計測機器点検
放 射 線 管 理 設 備
エリア・プロセスモニタリング設備点検
廃 棄 設 備
液体廃棄物処理系及び気体廃棄物処理系機器点検
非 常 用 予 備 発 電 装 置
非常用予備発電装置点検
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
蒸気タービン点検・復水器点検・主要弁点検
電 気 設 備
発電機点検・変圧器点検・しゃ断器点検
供 用 期 間 中 検 査
クラス１～２機器，原子炉格納容器供用期間中検査
そ の 他
原子炉圧力容器ヘッドスプレイ配管改良工事
プロセス計算機更新工事

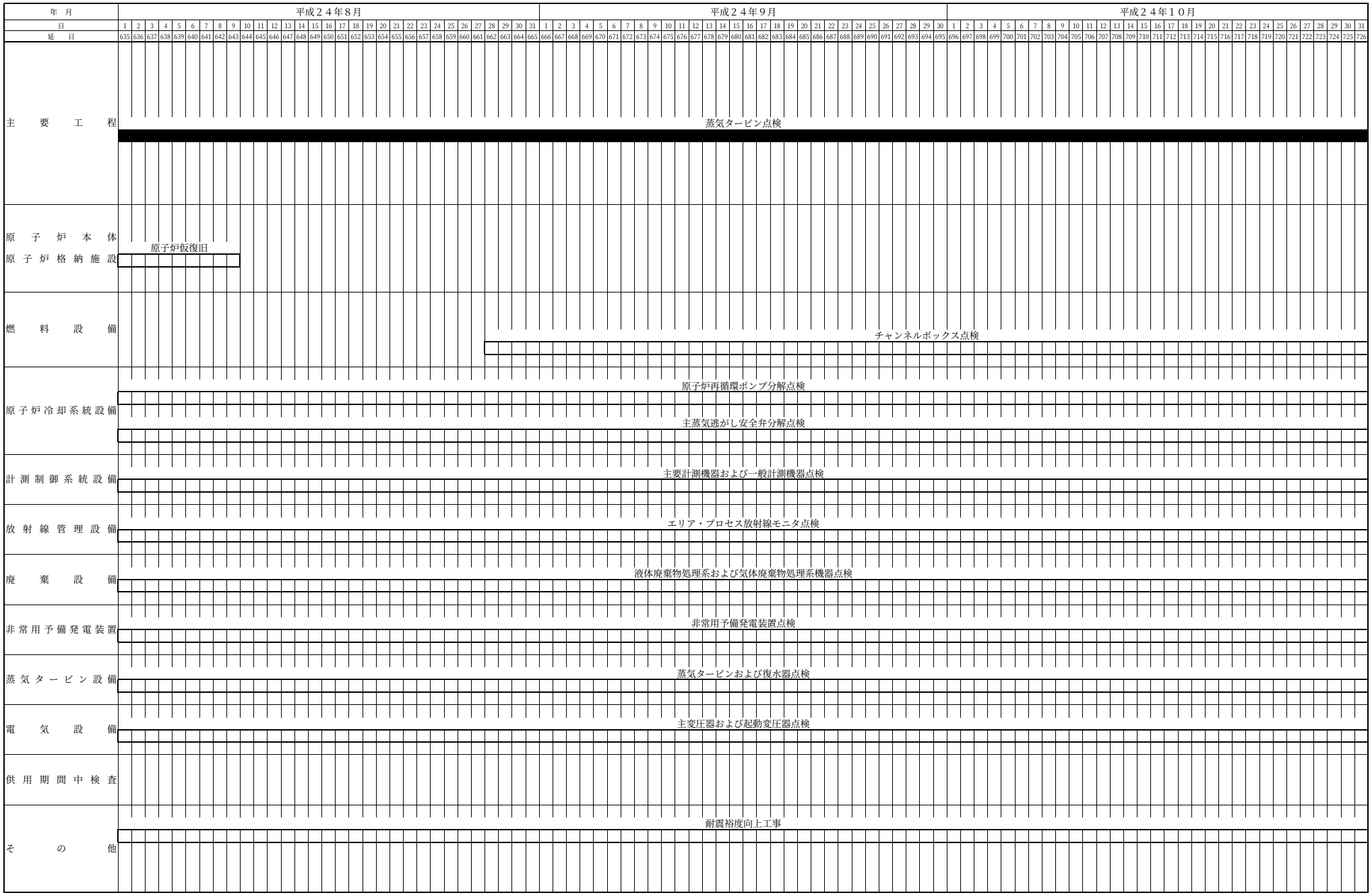
| 年　月 | 平成２３年５月 | | |

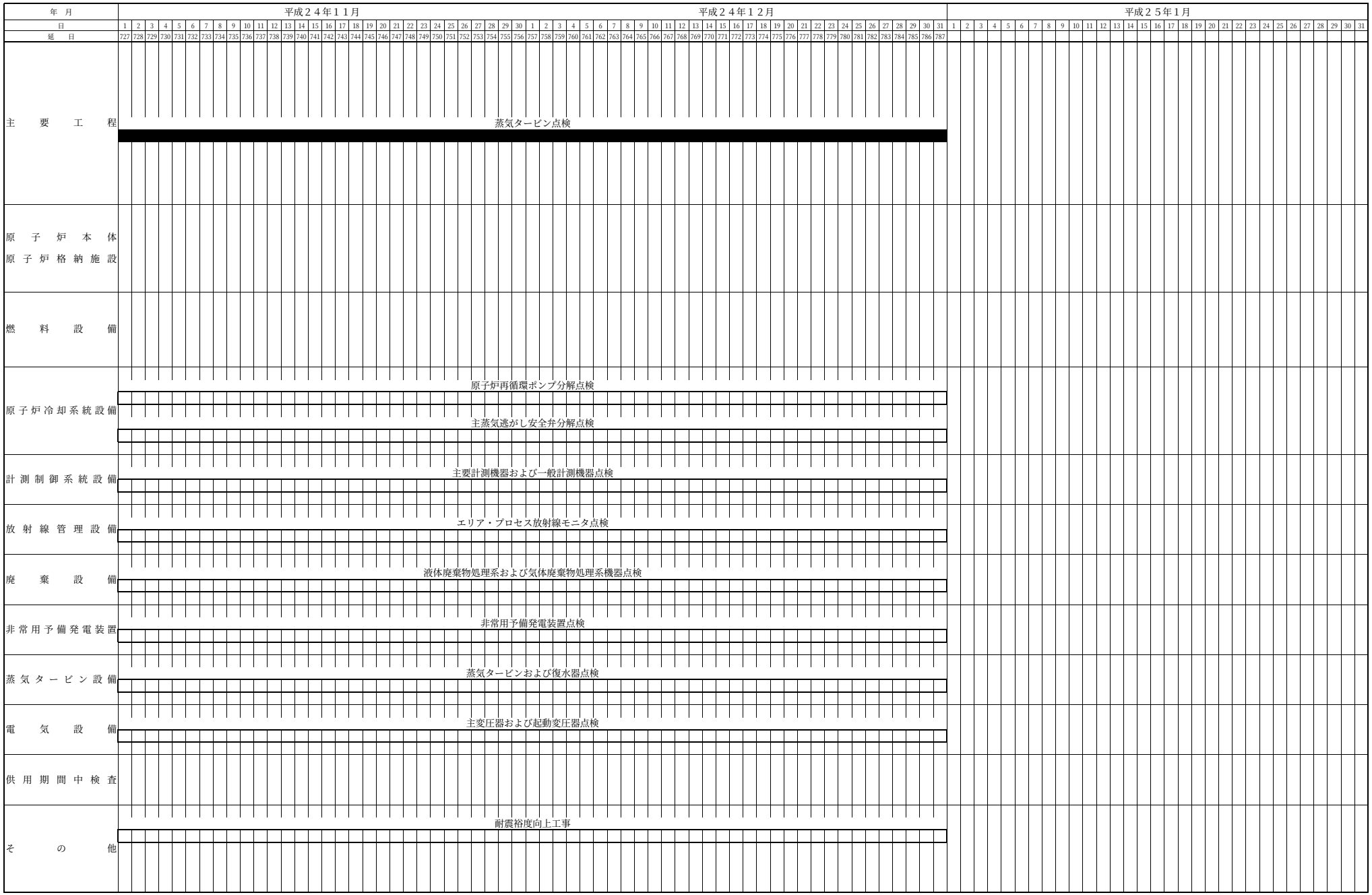

年 月
平成２３年８月
平成２３年９月
平成２３年１０月
日
延 日
主 要 工 程
原子炉開放
6
冷温停止
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
原子炉開放
燃 料 設 備
燃料取扱装置点検
使用済燃料プール内異物除去作業，使用済燃料貯蔵ラック点検
R／B天井クレーン点検
使用済燃料プール内異物除去作業，使用済燃料貯蔵ラック点検
原 子 炉 冷 却 系 統 設 備
原子炉再循環ポンプ分解点検
計 測 制 御 系 統 設 備
放 射 線 管 理 設 備
エリア・プロセス放射線モニタ点検
廃 棄 設 備
液体廃棄物処理系及び気体廃棄物処理系機器点検
非 常 用 予 備 発 電 装 置
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
蒸気タービン点検・復水器点検
電 気 設 備
主変圧器，起動変圧器点検
供 用 期 間 中 検 査
そ の 他


年 月
平成２３年１１月
平成２３年１２月
平成２４年１月
日
延 日
主 要 工 程
原子炉開放
使用済燃料プール内異物除去作業，使用済燃料貯蔵ラック点検
炉内構造物点検Ⅱ
炉内点検準備
6
31
10.5
8
3
7.5
炉内構造物点検Ⅰ
燃料取出
蒸気タービン点検
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
燃 料 設 備
原子炉再循環ポンプ分解点検
原 子 炉 冷 却 系 統 設 備
主蒸気逃がし安全弁分解点検
計 測 制 御 系 統 設 備
主要計測機器及び一般計測機器点検
放 射 線 管 理 設 備
エリア・プロセス放射線モニタ点検
廃 棄 設 備
液体廃棄物処理系及び気体廃棄物処理系機器点検
非 常 用 予 備 発 電 装 置
非常用予備発電装置点検
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
蒸気タービン点検・復水器点検
電 気 設 備
主変圧器，起動変圧器点検
供 用 期 間 中 検 査
そ の 他

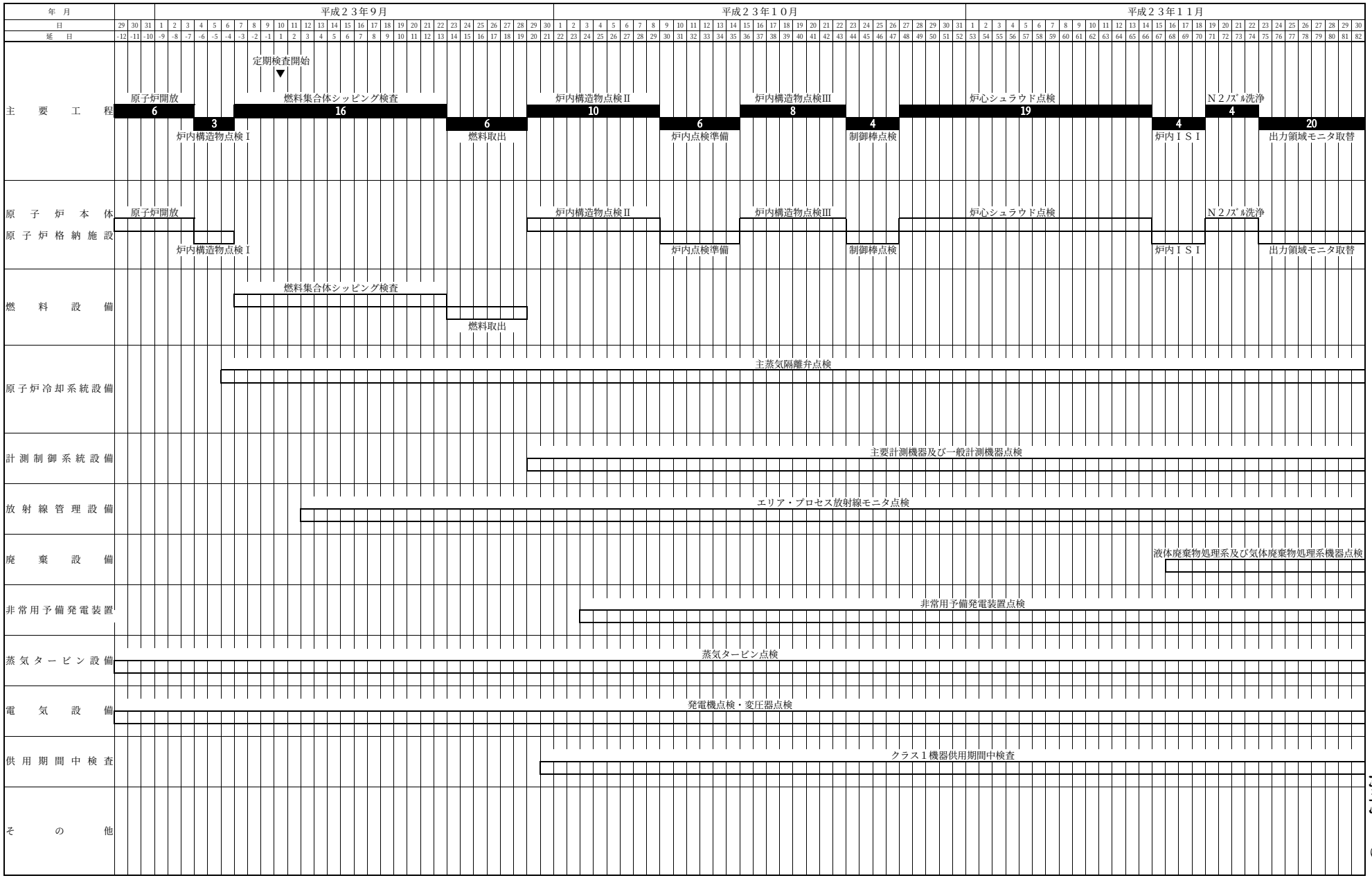

年 月
平成２４年２月
平成２４年３月
平成２４年４月
日
延 日
主 要 工 程
炉内点検準備
蒸気タービン点検
8
8
炉内構造物点検Ⅲ
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
炉内点検準備
制御棒点検
炉内構造物点検Ⅲ
燃 料 設 備
使用済燃料貯蔵ラック点検
チャンネルボックス点検
原子炉冷却系統設備
原子炉再循環ポンプ分解点検
主蒸気逃がし安全弁分解点検
計測制御系統設備
主要計測機器及び一般計測機器点検
放射線管理設備
エリア・プロセス放射線モニタ点検
廃 棄 設 備
液体廃棄物処理系及び気体廃棄物処理系機器点検
非常用予備発電装置
非常用予備発電装置点検
蒸気タービン設備
蒸気タービン点検・復水器点検
電 気 設 備
主変圧器，起動変圧器点検
供用期間中検査
その 他

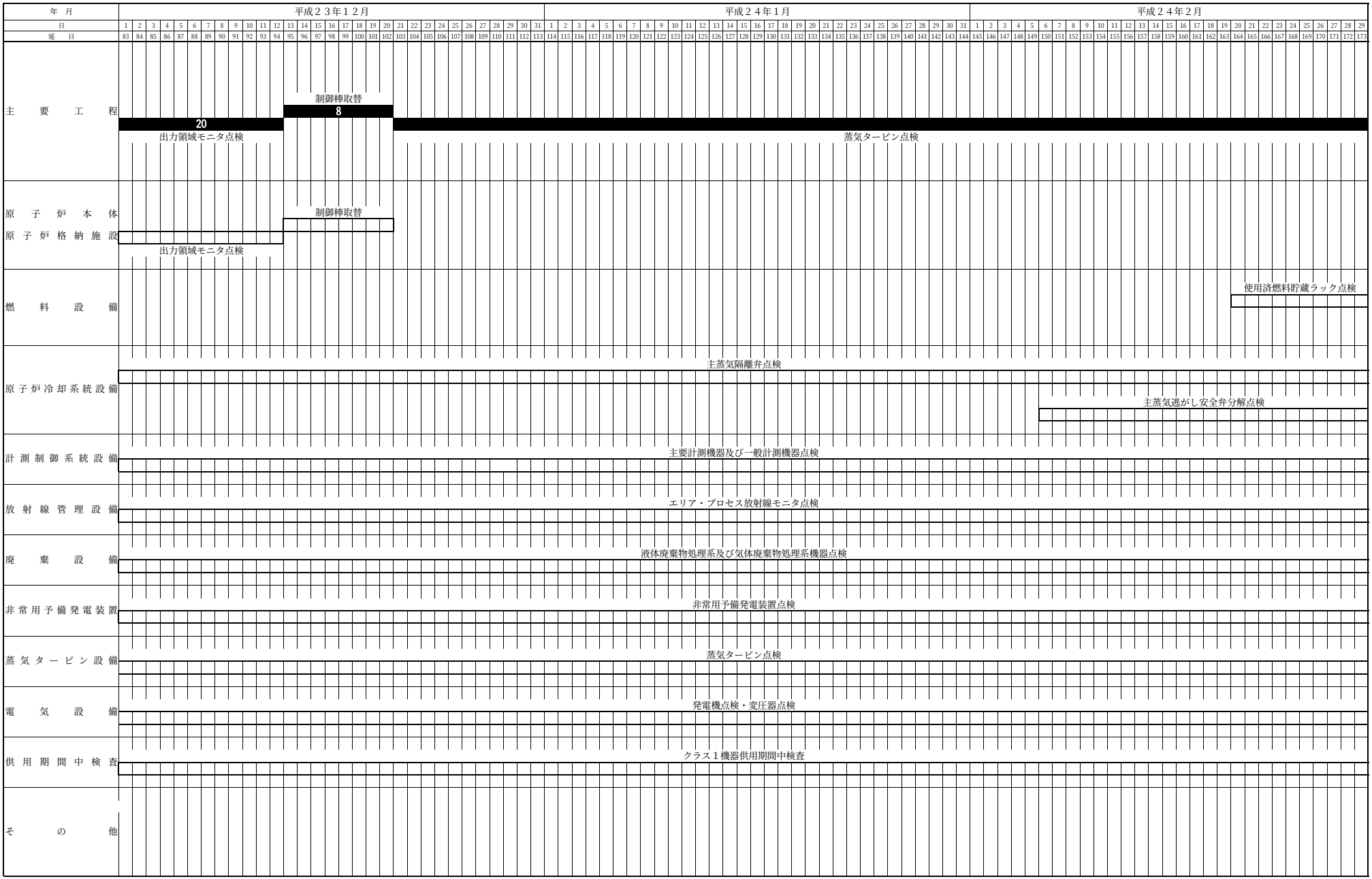

年 月
平成２４年５月
平成２４年６月
平成２４年７月
日
延 日
主 要 工 程
蒸気タービン点検
原 子 炉 本 体
蒸気乾燥機点検
原 子 炉 格 納 施 設
原子炉仮復旧
燃 料 設 備
使用済燃料貯蔵ラック点検
チャンネルボックス点検
原 子 炉 冷 却 系 統 設 備
原子炉再循環ポンプ分解点検
主蒸気逃がし安全弁分解点検
計 測 制 御 系 統 設 備
主要計測機器及び一般計測機器点検
放 射 線 管 理 設 備
エリア・プロセス放射線モニタ点検
廃 棄 設 備
液体廃棄物処理系及び気体廃棄物処理系機器点検
非 常 用 予 備 発 電 装 置
非常用予備発電装置点検
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
蒸気タービン点検・復水器点検
電 気 設 備
主変圧器，起動変圧器点検
供 用 期 間 中 検 査
そ の 他
耐震裕度向上工事

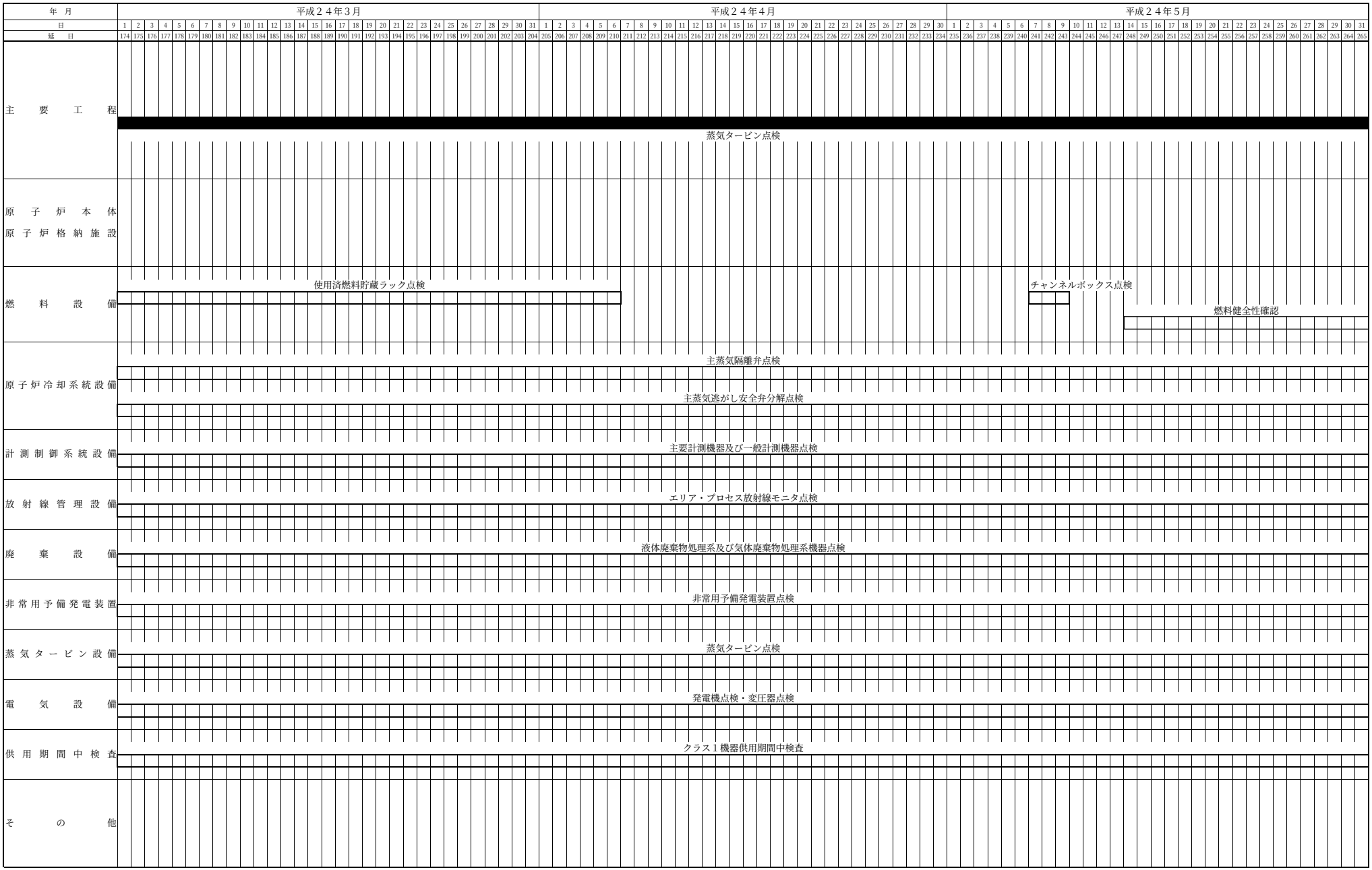

年 月
平成２４年８月
平成２４年９月
平成２４年１０月
日
延 日
主 要 工 程
蒸気タービン点検
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
原子炉仮復旧
燃 料 設 備
チャンネルボックス点検
原 子 炉 冷 却 系 統 設 備
原子炉再循環ポンプ分解点検
主蒸気逃がし安全弁分解点検
計 測 制 御 系 統 設 備
主要計測機器および一般計測機器点検
放 射 線 管 理 設 備
エリア・プロセス放射線モニタ点検
廃 棄 設 備
液体廃棄物処理系および気体廃棄物処理系機器点検
非 常 用 予 備 発 電 装 置
非常用予備発電装置点検
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
蒸気タービンおよび復水器点検
電 気 設 備
主変圧器および起動変圧器点検
供 用 期 間 中 検 査
耐震裕度向上工事
そ の 他

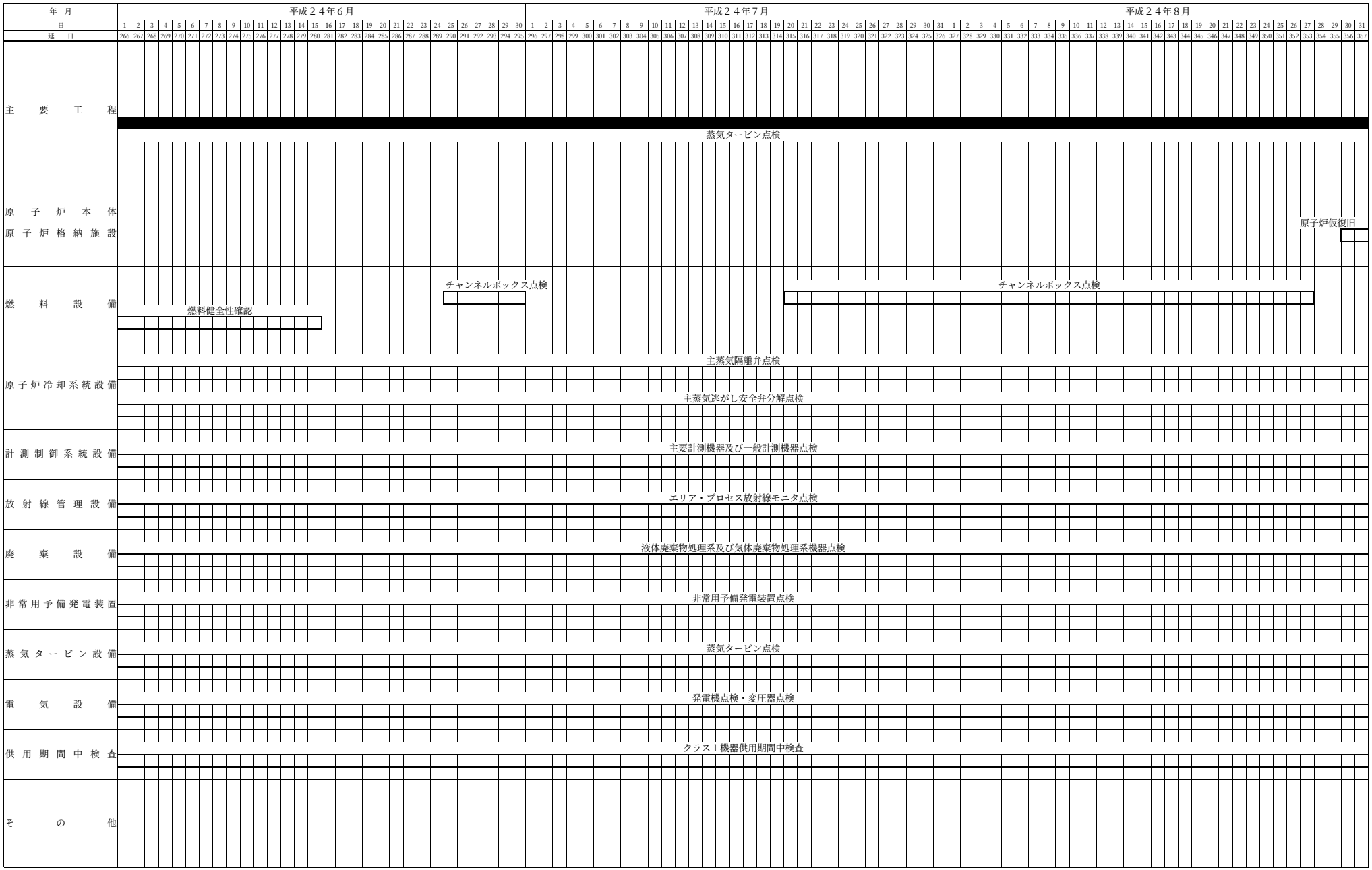

年 月
平成２４年１１月
平成２４年１２月
平成２５年１月
日
延 日
主 要 工 程
蒸気タービン点検
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
燃 料 設 備
原子炉再循環ポンプ分解点検
原 子 炉 冷 却 系 統 設 備
主蒸気逃がし安全弁分解点検
計 測 制 御 系 統 設 備
主要計測機器および一般計測機器点検
放 射 線 管 理 設 備
エリア・プロセス放射線モニタ点検
廃 棄 設 備
液体廃棄物処理系および気体廃棄物処理系機器点検
非 常 用 予 備 発 電 装 置
非常用予備発電装置点検
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
蒸気タービンおよび復水器点検
電 気 設 備
主変圧器および起動変圧器点検
供 用 期 間 中 検 査
耐震裕度向上工事
そ の 他

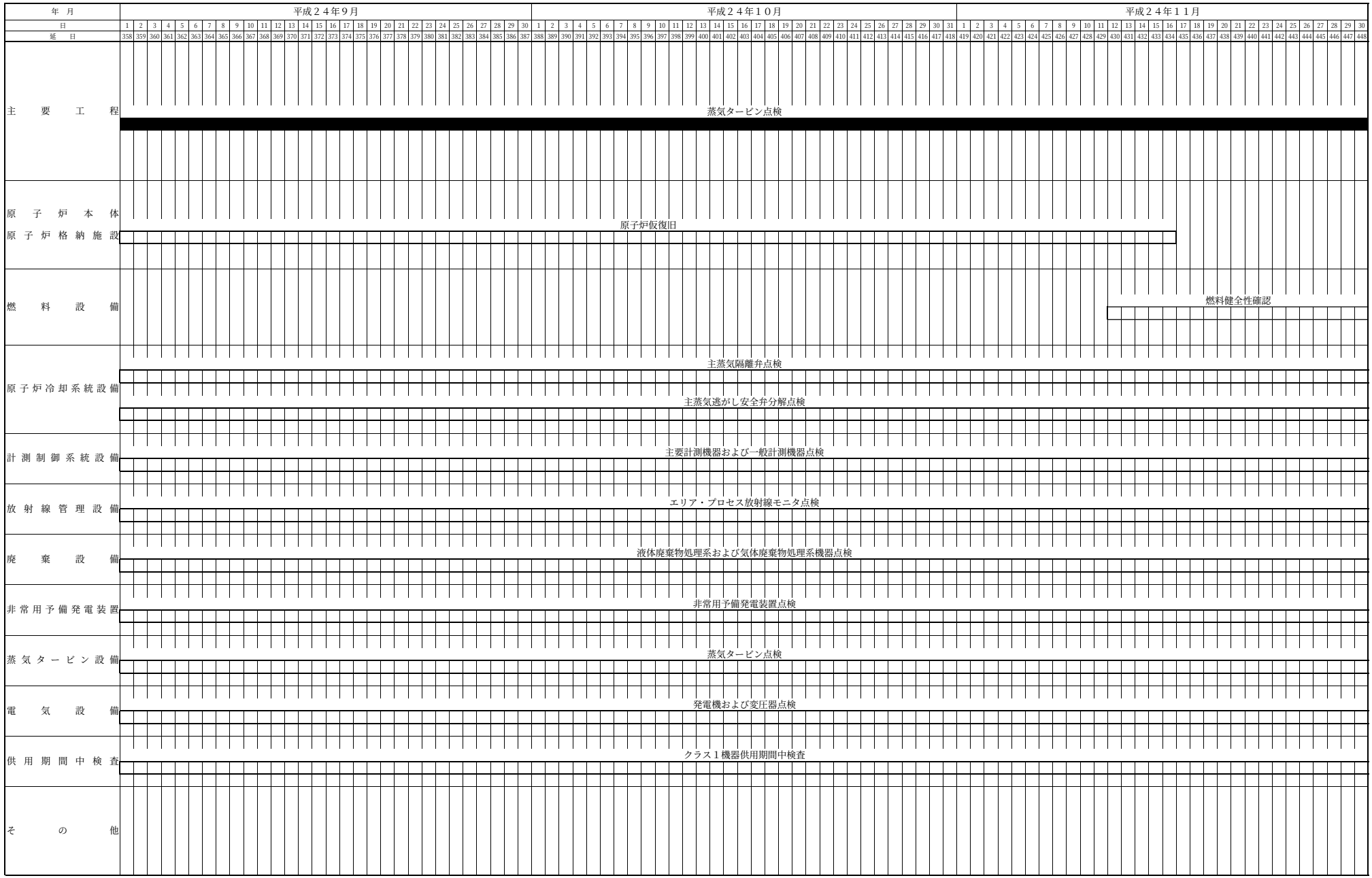
女川原子力発電所３号機　第７回定期検査　主要点検工程表

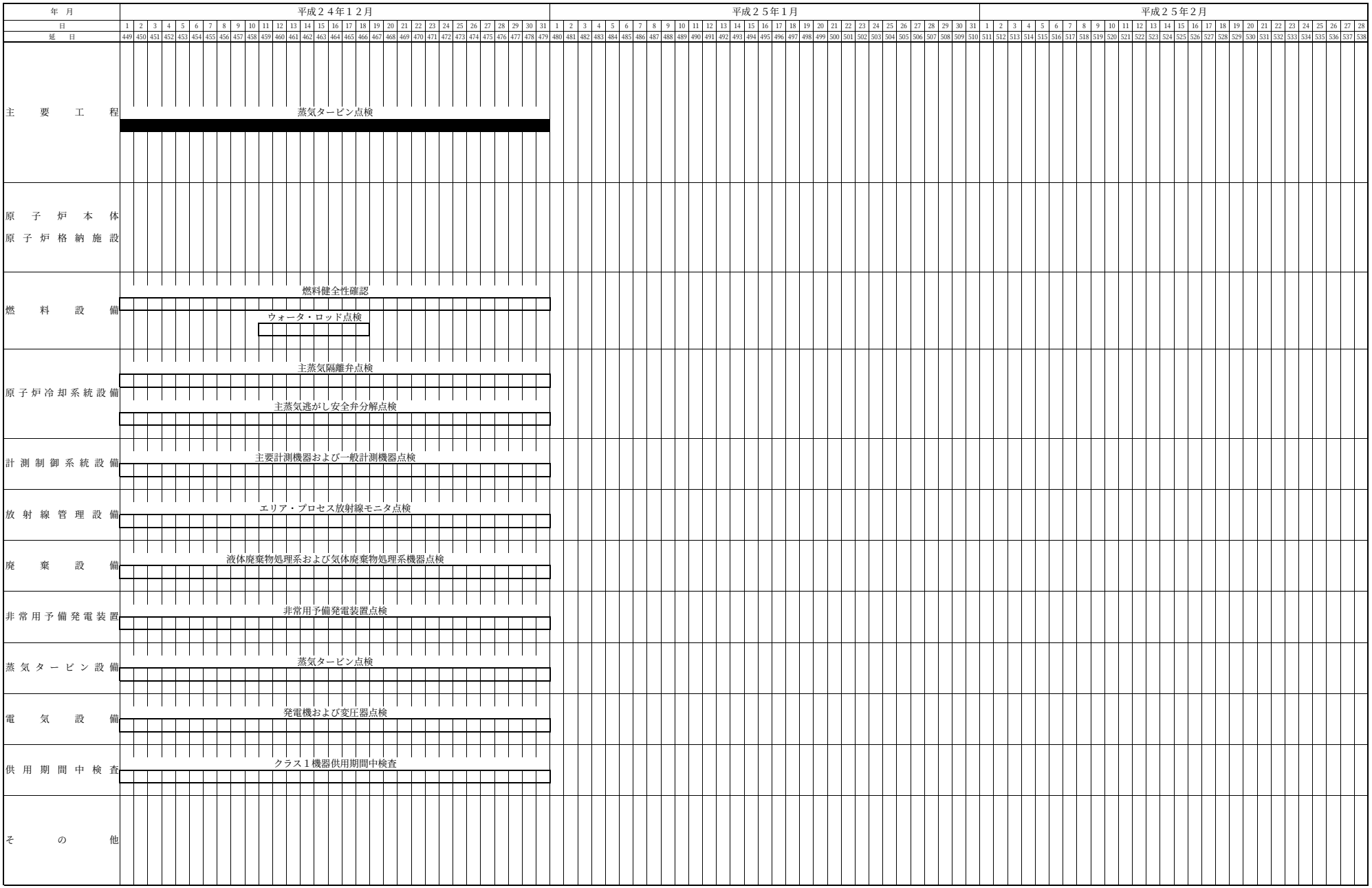



年 月
平成２３年１２月
平成２４年１月
平成２４年２月
日
延 日
主 要 工 程
制御棒取替
8
20
出力領域モニタ点検
蒸気タービン点検
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
制御棒取替
出力領域モニタ点検
燃 料 設 備
使用済燃料貯蔵ラック点検
原 子 炉 冷 却 系 統 設 備
主蒸気隔離弁点検
主蒸気逃がし安全弁分解点検
計 測 制 御 系 統 設 備
主要計測機器及び一般計測機器点検
放 射 線 管 理 設 備
エリア・プロセス放射線モニタ点検
廃 棄 設 備
液体廃棄物処理系及び気体廃棄物処理系機器点検
非 常 用 予 備 発 電 装 置
非常用予備発電装置点検
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
蒸気タービン点検
電 気 設 備
発電機点検・変圧器点検
供 用 期 間 中 検 査
クラス１機器供用期間中検査
そ の 他


年 月
平成２４年３月
平成２４年４月
平成２４年５月
日
延 日
主 要 工 程
蒸気タービン点検
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
燃 料 設 備
使用済燃料貯蔵ラック点検
チャンネルボックス点検
燃料健全性確認
原 子 炉 冷 却 系 統 設 備
主蒸気隔離弁点検
主蒸気逃がし安全弁分解点検
計 測 制 御 系 統 設 備
主要計測機器及び一般計測機器点検
放 射 線 管 理 設 備
エリア・プロセス放射線モニタ点検
廃 棄 設 備
液体廃棄物処理系及び気体廃棄物処理系機器点検
非 常 用 予 備 発 電 装 置
非常用予備発電装置点検
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
蒸気タービン点検
電 気 設 備
発電機点検・変圧器点検
供 用 期 間 中 検 査
クラス１機器供用期間中検査
そ の 他


年 月
平成２４年６月
平成２４年７月
平成２４年８月
日
延 日
主 要 工 程
蒸気タービン点検
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
原子炉仮復旧
燃 料 設 備
チャンネルボックス点検
チャンネルボックス点検
燃料健全性確認
原 子 炉 冷 却 系 統 設 備
主蒸気隔離弁点検
主蒸気逃がし安全弁分解点検
計 測 制 御 系 統 設 備
主要計測機器及び一般計測機器点検
放 射 線 管 理 設 備
エリア・プロセス放射線モニタ点検
廃 棄 設 備
液体廃棄物処理系及び気体廃棄物処理系機器点検
非 常 用 予 備 発 電 装 置
非常用予備発電装置点検
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
蒸気タービン点検
電 気 設 備
発電機点検・変圧器点検
供 用 期 間 中 検 査
クラス１機器供用期間中検査
そ の 他


年 月
平成２４年９月
平成２４年１０月
平成２４年１１月
日
延 日
主 要 工 程
蒸気タービン点検
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
原子炉仮復旧
燃 料 設 備
燃料健全性確認
原 子 炉 冷 却 系 統 設 備
主蒸気隔離弁点検
主蒸気逃がし安全弁分解点検
計 測 制 御 系 統 設 備
主要計測機器および一般計測機器点検
放 射 線 管 理 設 備
エリア・プロセス放射線モニタ点検
廃 棄 設 備
液体廃棄物処理系および気体廃棄物処理系機器点検
非 常 用 予 備 発 電 装 置
非常用予備発電装置点検
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
蒸気タービン点検
電 気 設 備
発電機および変圧器点検
供 用 期 間 中 検 査
クラス１機器供用期間中検査
そ の 他


年 月
平成２４年１２月
平成２５年１月
平成２５年２月
日
延 日
主 要 工 程
蒸気タービン点検
原 子 炉 本 体
原 子 炉 格 納 施 設
燃 料 設 備
燃料健全性確認
ウォータ・ロッド点検
原 子 炉 冷 却 系 統 設 備
主蒸気隔離弁点検
主蒸気逃がし安全弁分解点検
計 測 制 御 系 統 設 備
主要計測機器および一般計測機器点検
放 射 線 管 理 設 備
エリア・プロセス放射線モニタ点検
廃 棄 設 備
液体廃棄物処理系および気体廃棄物処理系機器点検
非 常 用 予 備 発 電 装 置
非常用予備発電装置点検
蒸 気 タ ー ビ ン 設 備
蒸気タービン点検
電 気 設 備
発電機および変圧器点検
供 用 期 間 中 検 査
クラス１機器供用期間中検査
そ の 他

女川原子力発電所１号機　主要機器点検情報（平成２４年１２月分）

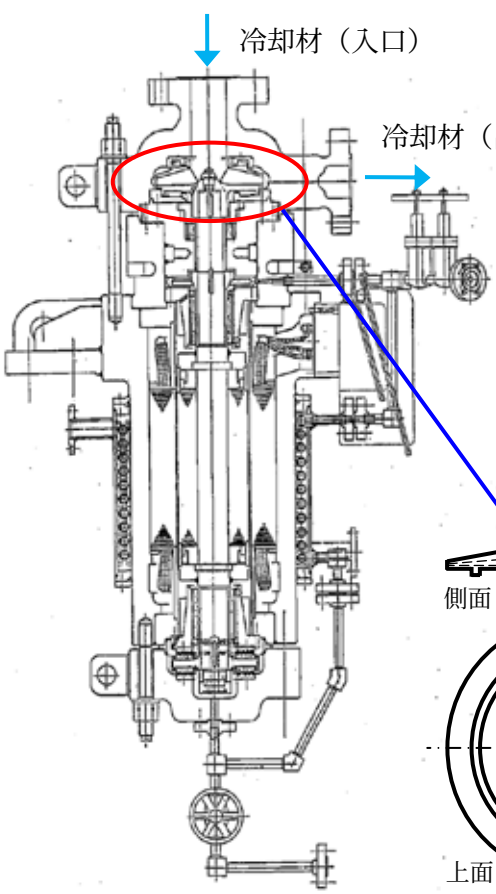
設備名	設備区分	実施内容	検査区分	概　　要
原子炉冷却材浄化系	○	分解点検	点	・原子炉冷却材浄化系ポンプ（Ａ）（以下、「当該ポンプ」という）の分解点検において浸透探傷検査を実施したところ、当該ポンプの羽根車と主軸の接続部に判定基準（長さ３mm）を超える線状の指示模様（最大で長さ１３mm）を、合計で８カ所発見しました。 ・当該ポンプは、分解点検前の運転状態において問題ないことを確認しており、当該系統の機能に影響はありません。 ・当該接続部については、表面の補修を行います。 （詳細については、個別情報Ｎｏ．１参照）
残留熱除去系	○	分解点検	点	・残留熱除去系　Ａ系第二注入隔離弁（以下、「当該弁」という）の分解点検を実施したところ、当該弁の弁体、弁座および弁箱ガイド部に浸食を発見しました。 ・当該弁は残留熱除去系の原子炉停止時冷却モード運転時に冷却材の流量調整を行うために設置している弁ですが、分解点検前の運転状況において、当該弁の動作および流量調整機能に問題がないこと等を確認しており、当該系統の機能に影響はありません。 ・今後、当該弁について弁体、弁座の取替え、および弁箱ガイド部の手入れを実施します。 （詳細については、個別情報Ｎｏ．２参照）

【設備区分】○：安全上重要な設備（原子炉圧力バウンダリ、原子炉本体、非常用炉心冷却系等）
△：それ以外の設備
【検査区分】定：法令に基づき国または独立行政法人原子力安全基盤機構が実施する定期検査
事：法令に基づき当社が実施する定期事業者検査
点：保守管理に基づく点検・補修等

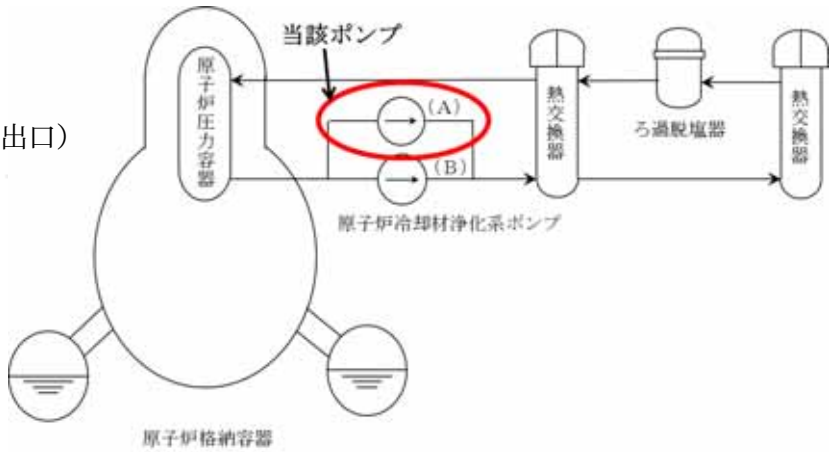
女川原子力発電所　定期検査・主要機器点検情報

Ｎｏ．１　　（平成２４年１２月分）

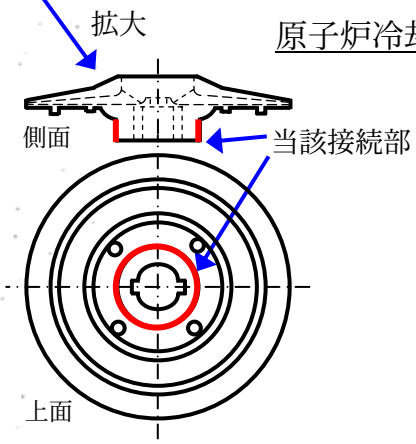
号　　機	１号機		定 期 検 査	第２０回定期検査	
件　　名	原子炉冷却材浄化系ポンプ（Ａ）羽根車接続部の指示模様について				
月　　日	平成２４年１２月１７日（月）		発　生　**発　見**　確　認		
場　　所	原子炉建屋	設　　備	原子炉冷却材浄化系	設備区分	安全上重要な設備
設備概要	原子炉冷却材浄化系は、原子炉冷却材中に含まれている不純物を除去し、冷却材の純度を高く保つための系統です。				
所　見	・　原子炉冷却材浄化系ポンプ（Ａ）（以下、「当該ポンプ」という）の分解点検において浸透探傷検査※を実施したところ、当該ポンプの羽根車と主軸の接続部に判定基準（長さ３mm）を超える線状の指示模様（最大で長さ１３mm）を、合計で８カ所発見しました（１２月１７日）。 ・　当該ポンプは、分解点検前の運転状態において問題ないことを確認しており、当該系統の機能に影響はありません。 ・　当該接続部については、表面の補修を行います。 ※　浸透探傷検査とは非破壊検査の一種で、探傷剤を使用して表面の傷等を見つける検査。				



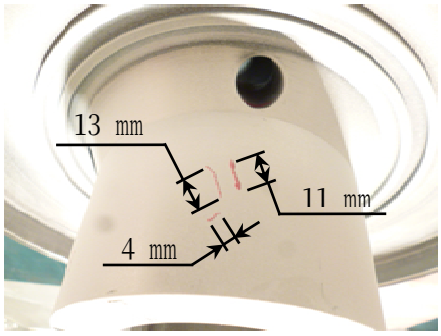
当該ポンプ構造図



原子炉冷却材浄化系　系統概略図



羽根車外形図

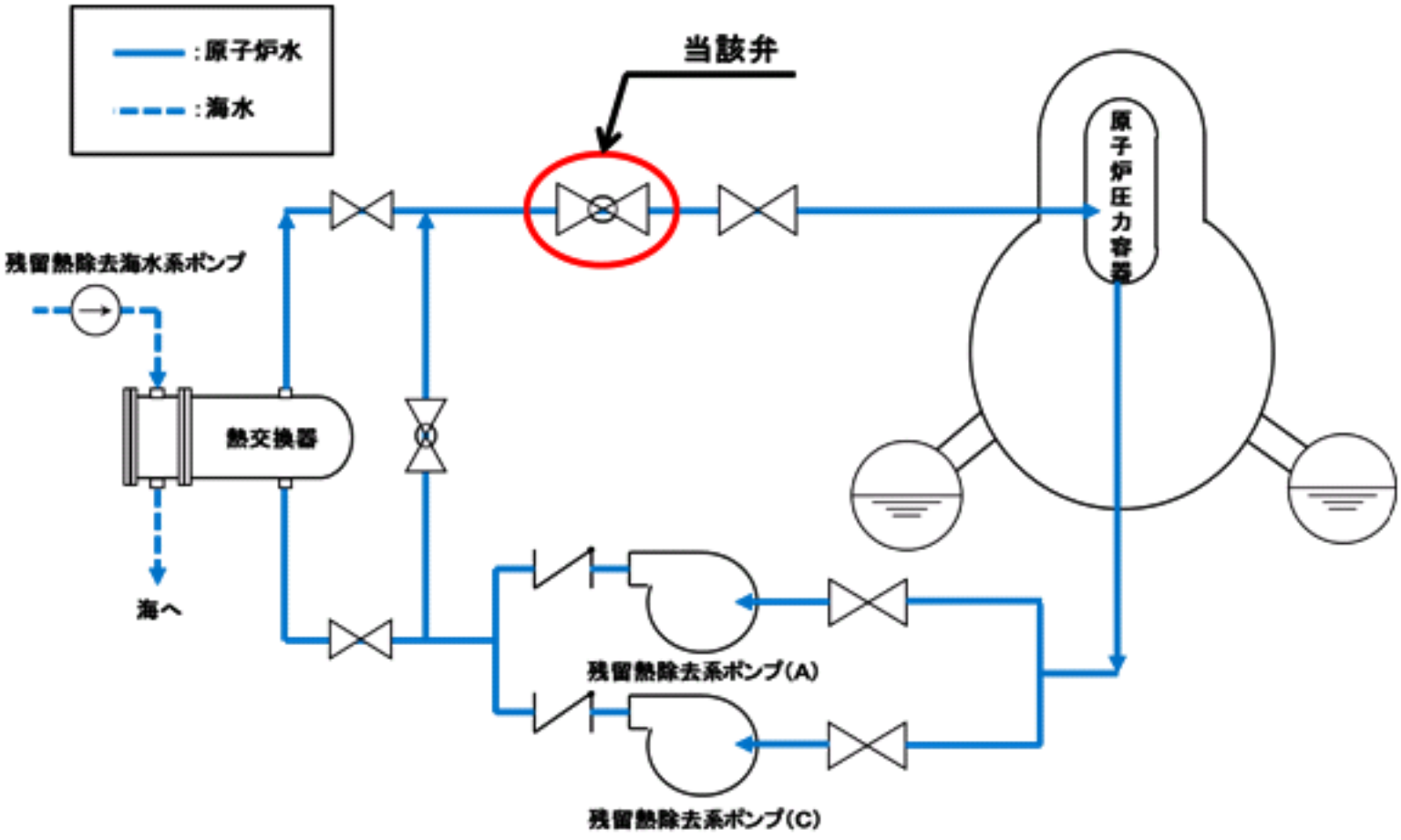


当該接続部指示模様（代表例）

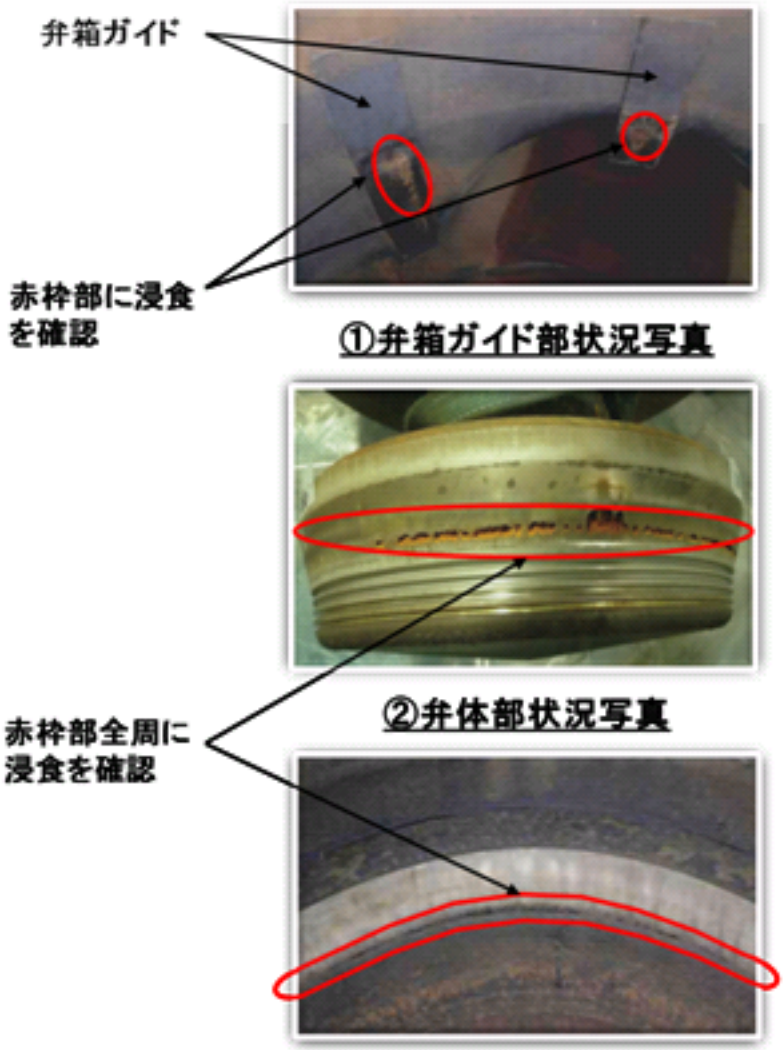
女川原子力発電所　定期検査・主要機器点検情報

Ｎｏ．２　　（平成２４年１２月分）

号　　機	１号機		定 期 検 査	第２０回定期検査	
件　　名	残留熱除去系　Ａ系第二注入隔離弁の浸食について				
月　　日	平成２４年１２月３日（月）		発　生 / 発　見 / 確　認		
場　　所	原子炉建屋	設　　備	残留熱除去系	設備区分	安全上重要な設備
設備概要	残留熱除去系は、原子炉を停止した後に、原子炉より発生する崩壊熱を除去・冷却するための機能や、原子炉冷却材喪失事故時には非常用炉心冷却系として原子炉へ冷却水を注入する機能等を有する系統です。				
所　　見	・残留熱除去系　Ａ系第二注入隔離弁（以下、「当該弁」という）の分解点検を実施したところ、当該弁の弁体、弁座および弁箱ガイド部に浸食を発見しました（１２月３日）。 ・当該弁は残留熱除去系の原子炉停止時冷却モード※運転時に冷却材の流量調整を行うために設置している弁ですが、分解点検前の運転状況において、当該弁の動作および流量調整機能に問題がないこと等を確認しており、当該系統の機能に影響はありません。 ・今後、当該弁について弁体、弁座の取替え、および弁箱ガイド部の手入れを実施します。 ※　原子炉停止時冷却モードは、原子炉を停止した後に、原子炉より発生する崩壊熱を除去し、原子炉を冷却する運転モードです。				



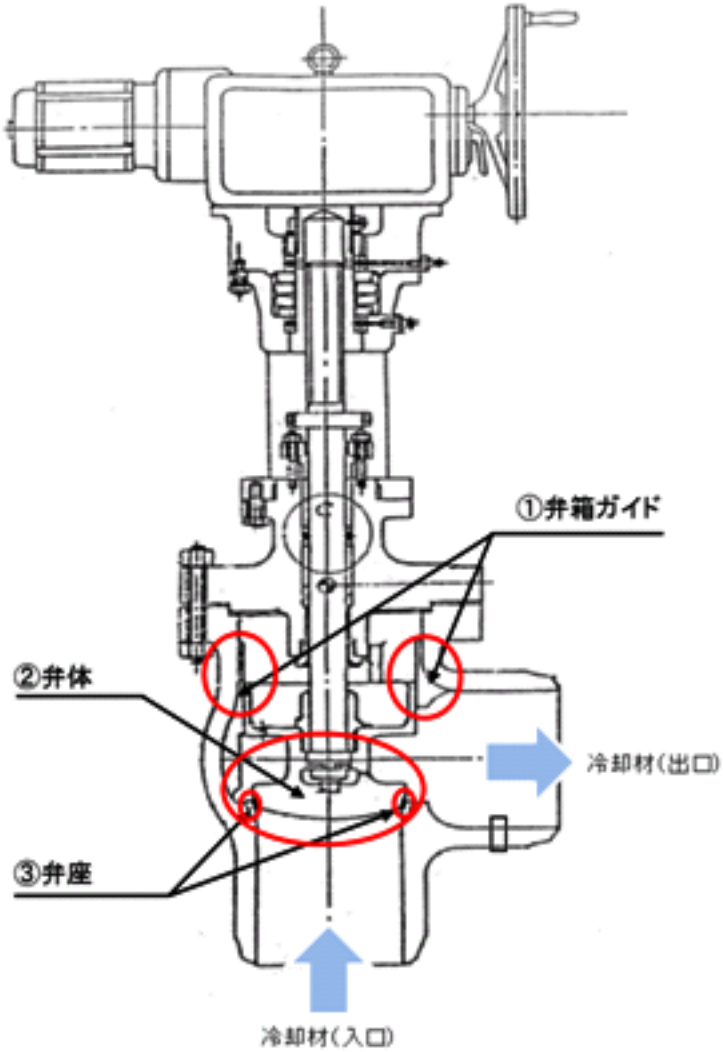
残留熱除去系A系 系統概略図



①弁箱ガイド部状況写真

②弁体部状況写真

③弁座部状況写真



残留熱除去系 A系第二注入隔離弁構造図

東北地方太平洋沖地震後の主要設備への軽微な被害状況リスト※

○平成２３年５月分

No.	号機	建屋	管理区域	件名	対応状況
1	1号機	原子炉建屋	内	燃料交換機入出力装置の破損	対応済（Ｈ２４．２）
2	1号機	原子炉建屋	内	ほう酸水貯蔵タンク水位指示回路不良	対応済（Ｈ２３．１２）
3	1号機	原子炉建屋	内	主蒸気逃がし安全弁（Ｃ）　位置検出スイッチの接点不良	対応済（Ｈ２３．１２）
4	1号機	原子炉建屋	内	制御棒駆動系ハウジング支持金具サポートバーのずれ	対応済（Ｈ２４．６）
5	1号機	原子炉建屋	内	原子炉格納容器内遮へい扉　留め具の外れ	対応済（Ｈ２４．３）
6	1号機	原子炉建屋	内	天井クレーン運転席鋼材等の損傷	対応済（Ｈ２３．９）
7,8	1号機	制御建屋	外	１２５Ｖ直流電源系の地絡（計２件発見）	対応済（Ｈ２４．２）
9	1号機	制御建屋	外	モニタリングポスト（チャンネル６）　信号変換器の故障に伴う指示不良	対応済（Ｈ２３．１０）
10	1号機	タービン建屋	内	高圧電源盤しゃ断器の投入不可	対応済（Ｈ２３．６）
11	1号機	タービン建屋	内	母連しゃ断器の制御電源喪失	対応済（Ｈ２３．６）
12～15	1号機	屋外	外	変圧器避圧弁の油面変動に伴う動作（計４件）	対応済（Ｈ２３．６）
16	1号機	屋外	外	１号機放水口モニターの津波による浸水および破損	対応済（Ｈ２４．１０）
17	1号機	屋外	外	１号機放水口モニター（試験運用機）の津波による浸水および破損	対応済（Ｈ２４．１０）
18,19	2号機	原子炉建屋	内	地下１階電動ステップバック遮へい扉の施錠装置の破損　（計２件発見）	対応済（Ｈ２３．１０）
20	2号機	原子炉建屋	内	原子炉格納容器内遮へい扉　留め具の変形	対応済（Ｈ２４．２）
21	2号機	原子炉建屋	内	制御棒駆動系ハウジング支持金具サポートバーのずれ	対応済（Ｈ２４．６）
22	2号機	原子炉建屋	内	天井クレーン運転席鋼材等の損傷	対応済（Ｈ２３．６）
23,24	2号機	制御建屋	外	１２５Ｖ直流主母線盤の地絡　（計２件発見）	対応済（Ｈ２４．３）
25	2号機	タービン建屋	内	蒸気タービン中間軸受箱の基礎の損傷	対応済（Ｈ２４．１２）
26～32	2号機	屋外	外	変圧器避圧弁の油面変動に伴う動作（計７件発見）	対応済（Ｈ２３．１１）
33	2号機	屋外	外	２号機放水口モニターの津波による浸水および破損	対応済（Ｈ２４．１０）
34	2号機	屋外	外	起動用変圧器放熱器油漏れ	対応済（Ｈ２４．１）
35	3号機	原子炉建屋	内	燃料交換機の配線ケーブルの脱線	対応済（Ｈ２３．４）
36	3号機	原子炉建屋	内	燃料交換機制御室内の地上操作装置落下	対応済（Ｈ２３．６）
37	3号機	原子炉建屋	内	燃料取替エリア放射線モニタ（Ａ）記録計の指示不良	対応済（Ｈ２３．８）
38	3号機	原子炉建屋	内	原子炉格納容器内遮へい扉　留め具の変形	対応済（Ｈ２４．２）
39	3号機	原子炉建屋	内	使用済燃料プールにおけるゲート押さえ金具の脱落	対応済（Ｈ２３．４）
40	3号機	原子炉建屋	内	使用済燃料キャスクピットにおけるゲート押さえ金具の脱落	対応済（Ｈ２３．４）
41	3号機	原子炉建屋	内	高圧炉心スプレイ系圧力抑制室吸込弁　自動での全開動作不能	対応済（Ｈ２３．６）
42	3号機	原子炉建屋	内	制御棒駆動系ハウジング支持金具サポートバーのずれ	対応済（Ｈ２４．６）
43	3号機	原子炉建屋	内	天井クレーン走行部等のすり傷	対応済（Ｈ２３．６）
44～47	3号機	原子炉建屋	外	１２５Ｖ直流主母線盤の地絡　（計４件発見）	対応済（Ｈ２４．２）
48	3号機	タービン建屋	内	蒸気タービン中間軸受箱の浮き上がりについて	対応済（Ｈ２４．４）
49～51	3号機	屋外	外	変圧器避圧弁の油面変動に伴う動作（計３件）	対応済（Ｈ２３．８）
52	3号機	屋外	外	３号機放水口モニターの津波による浸水および破損	対応済（Ｈ２４．８）
53	共用	屋外	外	牡鹿幹線１号線避雷器の損傷	対応済（Ｈ２３．６） 続報（Ｈ２３．８）
54	共用	屋外	外	当社モニタリングステーション（４局）の停電および伝送回線停止に伴う欠測	対応済（Ｈ２３．１０）
55	共用	屋外	外	海水温度モニタリング装置の津波による破損に伴う全局欠測	対応済（Ｈ２４．６）

○平成２３年６月分

No.	号機	建屋	管理区域	件名	対応状況
56	3号機	タービン建屋	内	3号機蒸気タービン動翼の損傷	

○平成２３年７月分

No.	号機	建屋	管理区域	件名	対応状況
57	2号機	タービン建屋	内	2号機蒸気タービン動翼の損傷	

○平成２３年８月分

No.	号機	建屋	管理区域	件名	対応状況
58	共用	屋外	外	牡鹿幹線2号線避雷器の損傷	対応済（Ｈ２３．８）

○平成２３年９月分

No.	号機	建屋	管理区域	件名	対応状況
59	2号機	タービン建屋	外	2号機タービン建屋外壁のひび割れ	

○平成２３年１０月分

No.	号機	建屋	管理区域	件名	対応状況
60	共用	固体廃棄物貯蔵所	内	固体廃棄物貯蔵所コンクリート壁の剥離	

○平成２３年１１月分

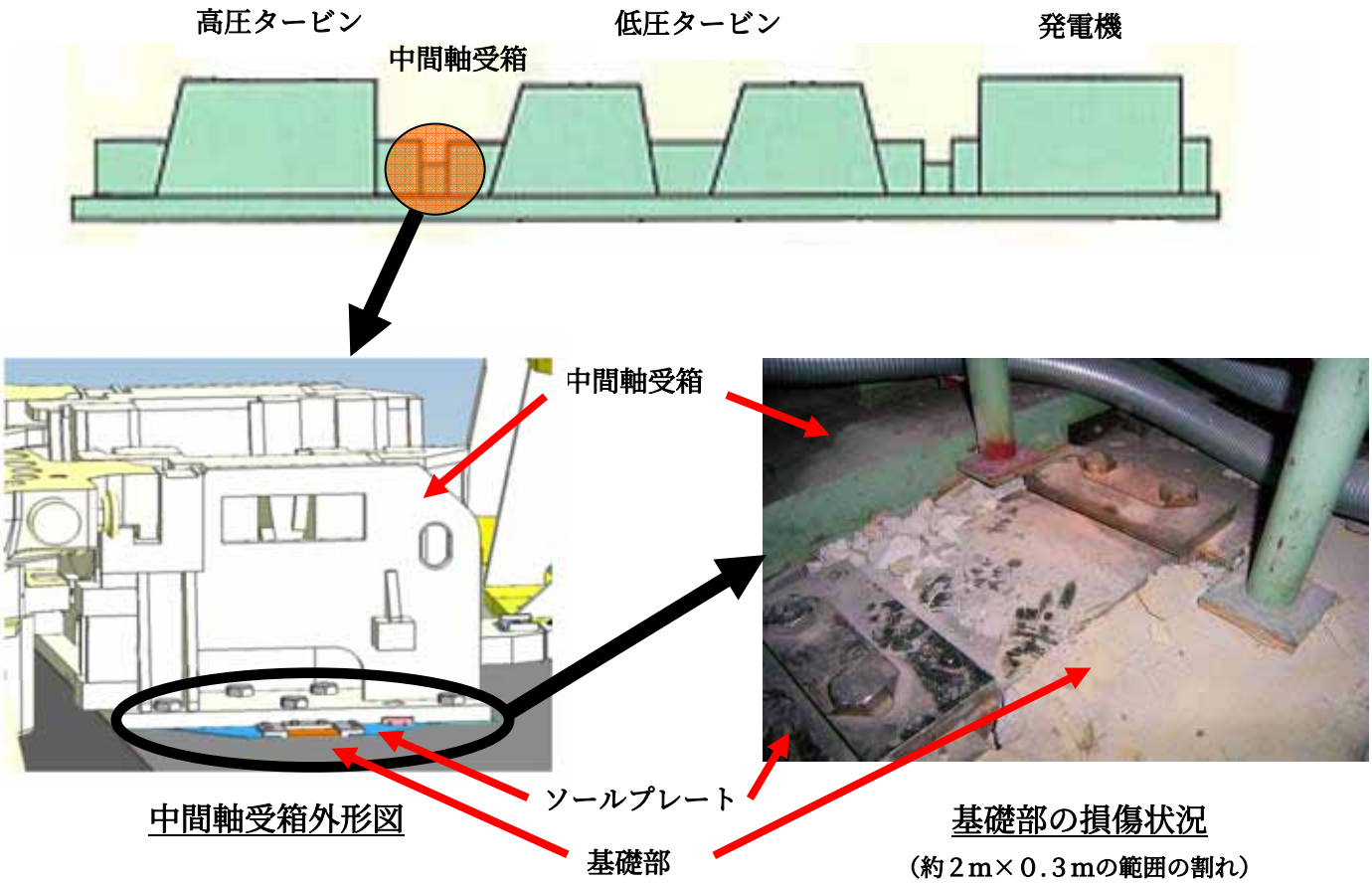
No.	号機	建屋	管理区域	件名	対応状況
61	2号機	タービン建屋	内	2号機蒸気タービン中間軸受箱の基礎ボルト曲がり	対応済（Ｈ２４．１２）

※　３．１１地震およびその余震による被害

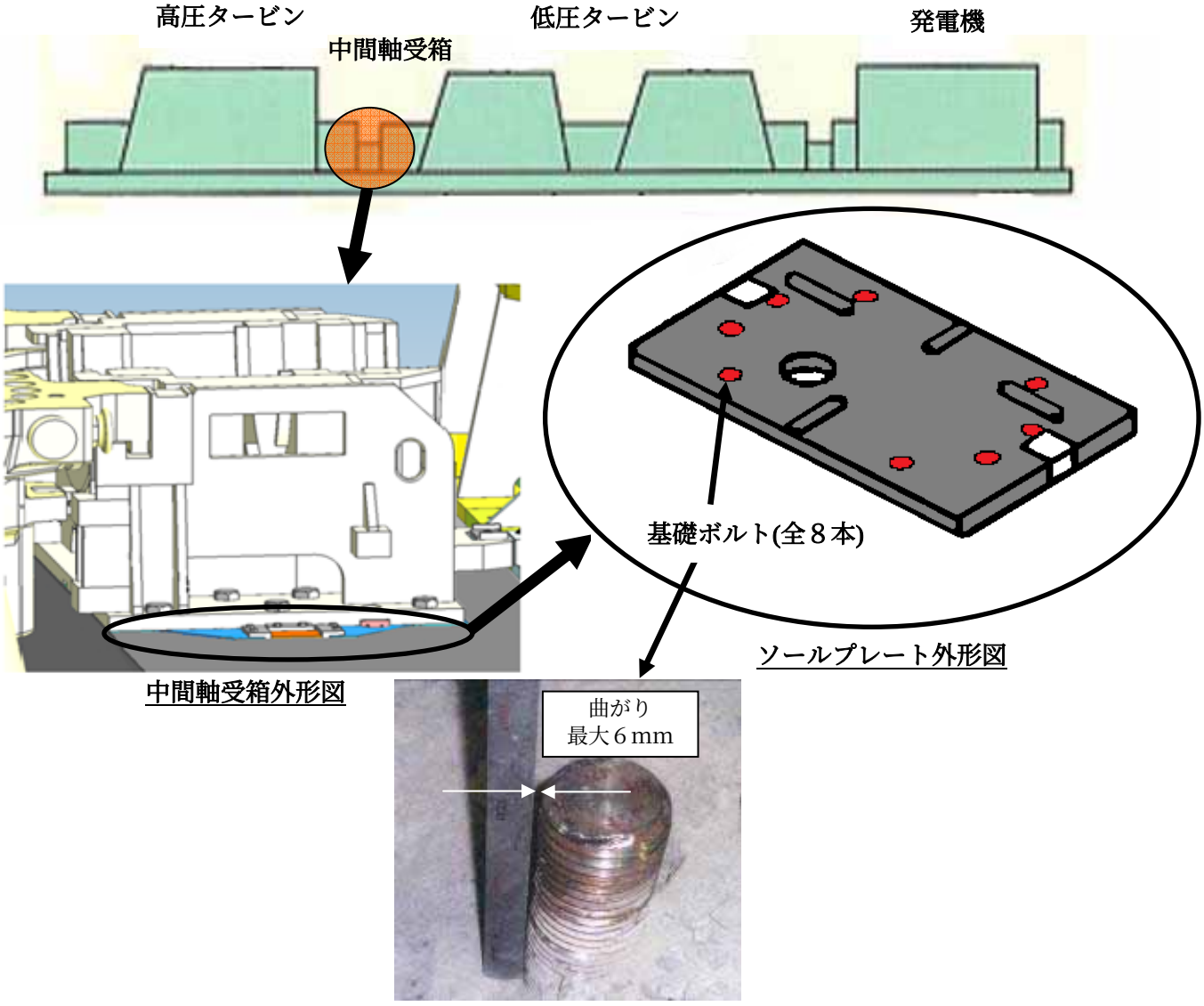
東北地方太平洋沖地震後の主要設備への軽微な被害の対応状況

平成２３年５月分　Ｎｏ．２５

件　　名	２号機　蒸気タービン中間軸受箱の基礎の損傷		
場　　所	タービン建屋	設　　備	蒸気タービン
設備概要	蒸気タービン設備は、高圧タービン１台と低圧タービン２台で構成されており、原子炉で発生した蒸気でタービンを回して発電機を回転させる設備です。		
所　　見	・ 平成２３年３月１１日の東北地方太平洋沖地震後の巡視点検において、蒸気タービン中間軸受箱の基礎部に損傷が確認されました（平成２３年３月１４日）。 ・ 地震の揺れにより、タービン主軸が移動したことで、中間軸受箱およびソールプレート（中間軸受箱を設置する平板）に力が加わり、ソールプレートが動いたことにより基礎部が損傷したものと考えられます。		
対応内容	・ 中間軸受箱およびソールプレートを一時撤去し、基礎部の補修、中間軸受箱の底部の溶接補修・手入れ、およびソールプレートの取替えを行い復旧しました（平成２４年１２月２１日）。		



東北地方太平洋沖地震後の主要設備への軽微な被害の対応状況

平成２３年１１月分　Ｎｏ．６１

件　　名	２号機　蒸気タービン中間軸受箱の基礎ボルト曲がり		
場　　所	タービン建屋	設　　備	蒸気タービン
設備概要	蒸気タービン設備は、高圧タービン１台と低圧タービン２台で構成されており、原子炉で発生した蒸気でタービンを回して発電機を回転させる設備です。		
所　　見	・ 平成２３年３月１１日の東北地方太平洋沖地震後の蒸気タービン開放点検において、全基礎ボルト（８本）に曲がり（最大６mm）が確認されました（平成２３年１１月１７日）。 ・ 地震の揺れにより、タービン主軸が移動したことで、中間軸受箱およびソールプレート（中間軸受箱を設置する平板）に力が加わり、ソールプレートを固定している基礎ボルトに曲がりが生じたものと考えられます。		
対応内容	・ 全基礎ボルトについて取替を行い、復旧しました（平成２４年１２月２１日）。